

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度 2016年度 活動報告書

2016年4月1日 ~ 2017年3月31日

2017年9月4日

Japan Football Association

JFA



はじめに

目的

本制度は、日本におけるグラスルーツサッカーの環境改善活動の一環としてスタートしました。

本制度の目的は、「JFAグラスルーツ宣言（※）」に賛同し、共に行動していただける団体と仲間になることで、グラスルーツサッカーの環境改善を推進することです。

経緯

2014年5月15日、JFAは「Football For All サッカーを、もっとみんなのものへ。」と題するJFAグラスルーツ宣言(※)を発表しました。

JFAは、サッカーの場づくりに関わる人々を支え、サッカー、そしてスポーツが生涯にわたって生活の一部となり、より豊かなスポーツ文化を育むことを目指しています。

2015年に実施したグラスルーツアンケート調査により、「JFAグラスルーツ宣言」の趣旨と同様の活動をされている方々が多く存在していることが分かりました。その方々をつなぎ、活動を紹介し、広く仲間を増やしていくことが、JFAのグラスルーツ宣言の具現化に近づくと考え、本制度を考案しました。

※JFAグラスルーツ宣言

JFAの理念とビジョンに基づき、年齢、性別、障がい、人種などに関わりなく、だれもが、いつでも、どこでも、サッカーを身近に心から楽しめる環境を提供し、その質の向上に努めることを宣言した。

制度の概要

JFAグラスルーツアンケート調査で掲げた6つのテーマの内、次の3つのテーマに関わる活動を重点的に推進するために、各活動に取り組む団体を「賛同パートナー」として認定します。

① 引退なし：『引退なし』賛同パートナー

サッカーは一生楽しめるもの。学校卒業、就職、転勤等、人生の節目で「引退」して終わるのではなく、サッカーをやりたい人は、どこにいても気軽にサッカーが継続できるように、子供からお年寄りまで、サッカーを楽しめる場づくりに取り組む団体を認定します。

② 補欠ゼロ：『補欠ゼロ』賛同パートナー

サッカーは試合に出て楽しむもの。その試合に出られなくても他の試合でしっかりと出られるようにする等、万年補欠でサッカーを終えることなく、上手い・下手関係なくみんなが心からサッカーを楽しむことができるように取り組む団体を認定します。

③ 障がい者サッカー：『障がい者サッカー』賛同パートナー

サッカーは障がいを持つ人も楽しめるもの。障がいを持つ人も楽しめるには、障がいを理解し、どうすれば楽しめるのかを考えて行動することです。多様性を受け入れ、障がいの有る無しに関わらず、サッカーを楽しめる場づくりに取り組む団体を認定します。

引退なし



補欠ゼロ



障がい者サッカー



JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度認定団体数

認定団体数 **114** 団体 (2017年3月31日現在)

北海道

札幌中央フットボールクラブ
シーガルサッカークラブ
特定非営利活動法人ReBra
ワイズクラブ釧路

青森県

社会福祉法人 純心会 まるくこども園

宮城県

VOCK大崎レディースU15
SendaiForza

山形県

NPO法人サルバトール楯引
特定非営利活動法人ブチユナイテッドアスリートクラブ

茨城県

茨城県知的障がい者サッカー連盟
特定非営利活動法人ヴェレン大洗SV
バンクフル茨城ダイバーシティフットボールクラブ

群馬県

蹴球団藤岡キッカーズ
JOYFULサッカークラブ
Rafaga Club de Futbol

埼玉県

浦和グランパワーズ
NPO法人浦和スポーツクラブ
FC REAL
FC もんちっち
一般社団法人 埼玉県脳性麻痺7人制サッカー協会
白岡市サッカー協会
NPO法人 SHIRAOKA K'sフットボールクラブ
南中野ダックスF.C.
寄居サッカークラブ
ra'pido futsal club
LIVRO白岡SoccerClub

千葉県

TODOS UNIDOS
ドリームチャレンジフットボールファン

NPO法人 幕総クラブ

東京都

ApreDiver
FCアンビシャス
FC東京
一般社団法人Enije
F.C.JATSサッカー学校
オンセドリームプロジェクトチーム
カフリンガ東久留米
上鷺宮少年サッカークラブ
株式会社クリエイティブヘッズ(エフチャンネル)
皐月フットボールクラブ
NPO法人スポーツカントリーアンビスタ
NPO法人ゼロスポーツコミュニケーション
千代田区サッカー協会
東京都知的障がい者サッカー連盟
一般社団法人日本ソサイチ連盟
BeYonDプロジェクトチーム
三鷹JFC

神奈川県

あざみ野キッカーズ
エスベランサNEXT
FC PORT
KAZU SOCCER CLUB
川崎ジュニアフットボールクラブ
公田サッカースポーツ少年団
クライティエポFC
NPO港北フットボールクラブ
特定非営利活動法人CPサッカー&ライフエスベランサ
知的障がい者サッカー推進連盟
チームSMiLEサラダ
ポットレーロFC
NPO大戸フットボールクラブ
横浜かもめスポーツクラブ
横浜F・マリノス
株式会社レグロ

長野県

三郷サッカースポーツ少年団ジュニアユース
一般社団法人筑北スポーツ振興協会
PLAY MAKERプロジェクト

新潟県

bandai12
フリーダム新潟FC
見附小学校サッカークラブ

静岡県

CONFIANÇA
清水エスバルス
しもあおベース
裾野西サッカースポーツ少年団
特定非営利活動法人スポーツコミュニティ磐田・ポラスター

愛知県

碧フットボールクラブ
一般社団法人AVANCO
VALLONFEEZ FOOTBALL CLUB
Club Atletico AICHI
NPO法人GranArbolスポーツクラブ
しあわせの食卓プロジェクト
ストリートサッカー
positivo FC
ワイヴァンフットボールクラブ
一般社団法人One Life

三重県

七里御浜FC

岐阜県

IGSユニバーサルスポーツクラブ
糸貫サッカー少年団
FCプログレッシブ

滋賀県

NPO法人BIWAKO SPORTS CLUB
ROSE RITTO

大阪府

アイリスFC住吉

NPO法人 吹田南フットボールクラブ

HalfTime
北摂ユナイテッド
NPO法人 八尾大正スポーツクラブ

兵庫県

あかしユニバーサルフットボール連盟
ウエルネス
一般社団法人 オープンゲート スポーツクラブ
特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ
一般社団法人 スポーツアカデミー ロヴェスト神戸
チャレンジドサッカーサークル神戸
HYOGO CHANCEN SV

島根県

松江FCだんだん

岡山県

玉野Divell

広島県

A-pfeile広島

香川県

キッズフィールド

福岡県

VAMOS福岡FC
エスベロ直方
特定非営利活動法人 春日イーグルス
つばさアカデミア・サッカースクール

長崎県

よこおスポーツクラブ ゴラッソ横尾

熊本県

NPO法人スポーツクラブ・エスベランサ熊本
ソルサフガール

大分県

特定非営利活動法人カティオーラ

宮崎県

テゲバジャーロ宮崎

2016年度の全体

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度の3つのテーマ

引退なし



補欠ゼロ



障がい者サッカー

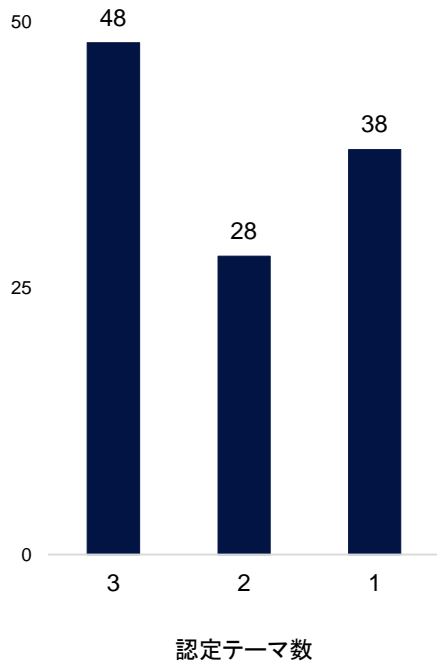


2016年度は、114団体がJFAグラスルーツ推進・賛同パートナーとして認定されました。

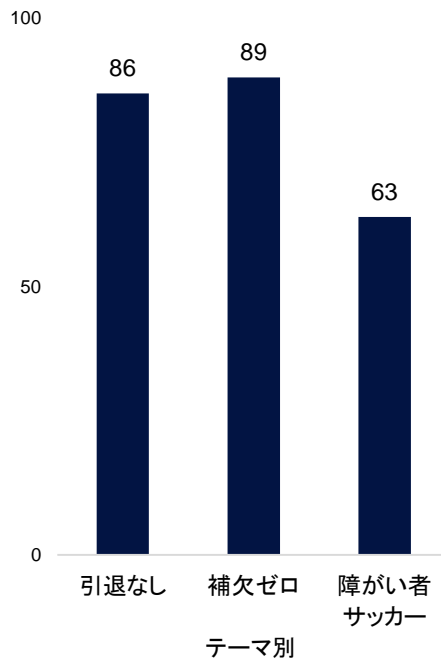
掲げられている3つのテーマ全てに認定された団体は、48団体(42%)になりました。2つのテーマに認定された団体は、28団体(25%)、1つのテーマに認定された団体は、38団体(33%)になりました。

テーマ別における団体数は、『補欠ゼロ』が89団体と最も多く、『引退なし』が86団体、『障がい者サッカー』が63団体となりました。

テーマ数別 団体数



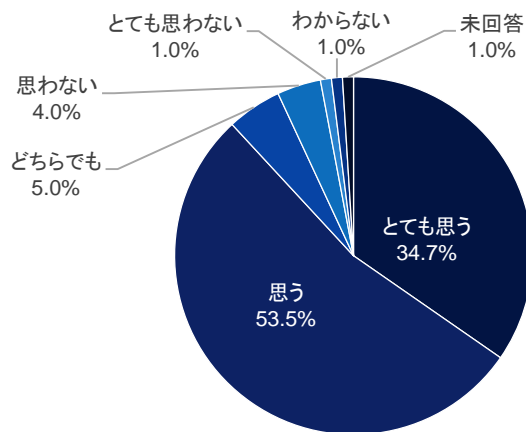
テーマ別 団体数



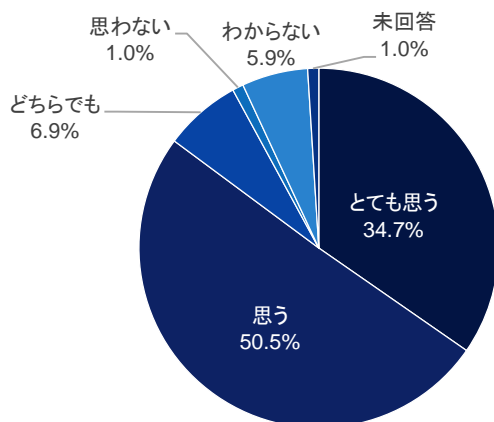
2016年度の全体

認定団体の活動報告アンケート（回答数 101 団体）

当初の活動目標を達成できたと思う



賛同パートナーになり、団体の活動充実につながったと思う



左の2つのグラフは、JFAグラスルーツ推進・賛同パートナーに認定された団体の2016年度の活動報告アンケート結果を表したものです。

各団体は賛同パートナーに申請する際、1年間の活動目標を設定していただき、2016年度末に活動を振り返っていただきました。その結果、88.2%の団体が「活動目標を達成できたと思う」と回答しました。

賛同パートナーになり、団体の活動充実につながったかどうかを質問した結果、85.2%の団体が「活動充実につながったと思う」と回答しました。

テーマ別 活動紹介(引退なし)



多くの団体が素晴らしい活動をされており、全てを紹介したいのですが、ここでは特徴的な事例を紹介します。



あざみ野キッカーズ
大人も子ども同じグラウンドに集まるコミュニティは他にはない。選手は、小学生から70歳までと年齢層の幅は大きい。



特別非営利活動法人 春日イーグルス
地域に密着した総合型スポーツクラブとして、地域に欠かせない団体となっている。各年代の人が集まり、サッカーだけでなく他スポーツを通して様々な活動に取り組んでいる。

団体名	あざみ野キッカーズ
認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ
活動概要	地域の子どもと大人が集まるサッカークラブ
活動内容	当チームは、大人のエンジョイチームと少年サッカーチームで構成されているチームです。 一時、子どもの人数が多く、コーチ不足に悩まされたが、「大人のチームに参加する人は必ず子どものコーチをする」ルールを設けることで解決されました。このルールがあるが、大人のチームは、練習やゲームを自分の好きなように行える「ゆるさ」があり、誰もが気楽にサッカーを楽しんでいます。当チームは、小学1年からO-70まで幅広い年齢の選手が在籍しているが、子どもの時に在籍していた選手が、大人になった時に戻るサイクルができています。しかも「地域の人として、地域の子どもたちを育成」という会則の下、コーチはボランティアで指導しており、地域とサッカーが深く結びついています。 地域に密着した当チームは、楽しみながらサッカーの輪を広げ、生涯現役を支える場となっています。

団体名	特定非営利活動法人 春日イーグルス
認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー
活動概要	地域密着の総合型スポーツクラブ
活動内容	当団体は、地域に密着した総合型スポーツクラブであり、小学生から社会人まで幅広い年齢の選手が所属しています。少子化社会の中で、生涯スポーツを通して、コミュニケーションを豊かにし、人を作り、育てることによる、コミュニティ再生を目指しています。老若男女や障がい者が、自分のレベルに合わせて試合を楽しむために平等に出場し、また個人のニーズに対応しています。そして、全ての選手が多様性を受け入れ、自分の個性を発揮し、豊かなスポーツライフを送ることができる場・社会実現に取り組んでいます。 現在では、サッカーだけでなく、他スポーツ教室も行われおり、総合型スポーツクラブとして、地域コミュニティや教育にも深く関わっています。当団体は、子どもたちの「心が育つ」ことを願って、地域に密着したクラブとして様々な活動に取り組んでいます。

テーマ別 活動紹介(引退なし)



白岡市サッカー協会
サッカー普及に力を入れている埼玉県白岡市では、市内のいたるところで幅広い年齢層の選手たちが一心不乱にボールを蹴っている光景が見られる。

団体名	白岡市サッカー協会
認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ
活動概要	市全体で取り組むグラスルーツ推進
活動内容	白岡市サッカー協会会長は、サッカーの楽しさを一人でも多くの市民に伝えたいという思いを持っており、市全体でグラスルーツ推進に取り組んでいます。中学3年生は、夏休みになるとサッカーから離れてしまい、高校進学までの間に興味が薄れてしまいます。それを危惧した会長は、「中学を卒業する時、みんなと一緒に楽しくサッカーをやる機会があれば」という思いから、白岡市学校対抗戦として「卒業記念大会」を開催しました。本大会は、誰もが大会に出場することができ、大会で勝つために、引退した人も受験勉強の合間にサッカーをしています。そして、毎年卒業シーズンでは市全体が活気に包まれます。最近では、母親向けに初心者講習会を開催し、シニア向けに40歳以上のリーグを立ち上げました。会長は白岡市にサッカーが好きな人を増やすために、現在も様々な取組みを全力で行っています。



一般社団法人オープンゲート スポーツクラブ
サッカーに馴染みのない参加者が多かったが、大学生の先輩たちを見て、サッカーを始める参加者が数名いた。

団体名	一般社団法人オープンゲート スポーツクラブ
認定テーマ	引退なし
活動概要	サッカー未経験者へのサッカー普及
活動内容	全国的に継続した運動をする女の子が減少している現状を解決するために、女の子が参加しやすいサッカー振興を目的としたイベントを継続的に実施しています。同クラブは、男の子のスポーツのイメージがまだ残っているサッカーを女の子にも始めてもらうきっかけを狙い、同志社大学体育会サッカー部女子部と合同でなでしこサッカー教室を開催しました。サッカー教室は、大学生が自ら考えた練習メニューを元に行われました。3～12歳と幅広い年齢で60名も参加しましたが、3つのグループに分ける等、工夫をして誰もがサッカーを楽しめるように進められました。同クラブは、サッカーに馴染みのない参加者が身近な目標を見つけ、生涯サッカーを続けていくことを祈って、活動を続けています。

テーマ別 活動紹介(補欠ゼロ)



公田サッカークラブ
補欠ゼロの考えに基づいた活動に取り組み、他指導者にも補欠ゼロの考えを広めている。



上鷺宮サッカークラブ
「あすなるリーグ」では、出場機会に恵まれない選手が、試合に出場し、ひたむきにサッカーを楽しんで
いる光景が見られる。

団体名	公田サッカークラブ
認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー
活動概要	補欠ゼロの理解啓発
活動内容	<p>公田サッカークラブを魅力あるクラブにしたい。そう熱く語る代表者は、補欠ゼロを体現したクラブ作りをしています。選手がクラブに入る時、親御さんや選手に「上手い下手に関わらず、全員を試合に出させること」を理解していただくようになっています。</p> <p>実際に、1年間の試合の中で、全ての選手が同じくらいの試合に出られるように配慮し、全ての選手にチャンスを与えています。</p> <p>補欠ゼロを掲げることは勝利に結びつきづらいかもかもしれませんが、代表者は勝負に勝つことにもこだわっています。チームのみんなが全員で協力して勝つ喜びを味わわせたい強い想いを持っています。直近では、補欠ゼロの考えを公田サッカークラブに留まらず、他チームにも共有してもらうために補欠ゼロ大会を開催しました。大会を通して、他の指導者にも補欠ゼロの考えに賛同いただき、今後も補欠ゼロの考えを広めるべく活動しています。</p>

団体名	上鷺宮少年サッカークラブ
認定テーマ	補欠ゼロ
活動概要	保護者と二人三脚で運営するリーグ戦(出場機会の少ない選手対象)
活動内容	<p>サッカーが好きな子どもたちの中には、試合を経験できない子もたくさんいます。この現状を解決するために、U-12リーグ開催に伴い、出場機会が少ない選手対象の「あすなるリーグ」を開催しました。半年間で、7チーム参加し、試合に出場できない選手700人が試合に出場することができました。</p> <p>リーグ戦は、45分間の中で自由に試合時間や本数を決定して行いました(例:45分1本、20分2本・5分休憩)。</p> <p>参加選手の保護者から「息子が試合に出場するのを観たり、応援できたことが嬉しかった。」の声がありました。また、少子化が進み、試合ができないチームからの参加希望の連絡もありました。このように多くの選手だけでなく、保護者にも楽しさを提供する機会となっています。運営・グラウンド確保に問題はありますが、保護者にもご協力いただきながら、継続的に開催しています。</p>

テーマ別 活動紹介(補欠ゼロ)



KAZU SOCCER CLUB

本リーグで自信をつけて一気にトップチームの選手になったり、キャプテンシーを発揮してチームをまとめたりと、選手たちが大きく成長するリーグ戦だ。

団体名	KAZU SOCCER CLUB
認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ
活動概要	選手の成長を促すリーグ戦(出場機会が少ない選手対象)
活動内容	当チームは、公式戦での出場機会が少ない選手対象に、1年間に渡るリーグ戦「2016 KANAGAWA ROOKIE LEAGUE」を開催しています。当リーグは4年目を迎え、選手たちの成長を見守ること、そして育成年代からリーグ文化を根付かせて、常にチャレンジできる環境を選手たちに提供する目的で開催されています。リーグ戦形式は、1学年毎に開催され、全員が試合に出場できるように出場記録を記載するチェックシートを利用する等の工夫がなされています。当リーグの出場をきっかけに自信をつけて、先発メンバーに選ばれるようになった選手、リーダーシップを発揮するようになった選手等が出てきました。それらは、試合に出ている誰もが主役になり、積極的にチャレンジできるからです。当リーグは、一人ひとりの選手が成長するきっかけになるリーグ戦として今後も継続されていきます。



よこおスポーツクラブ ゴラッソ横尾

指導者も公式戦で初の審判をした。選手も指導者も挑戦だらけの大会は、みんなで喜びや悔しさを共有し合う大会となった。

団体名	よこおスポーツクラブ ゴラッソ横尾
認定テーマ	補欠ゼロ
活動概要	地方による女子サッカーの試合の機会創出
活動内容	本イベントは、女子だけのチームが成立しない地域で女子にも、平等に試合や大会を経験する目的で開催されました。大会当日は、活き活きた表情や初めて見たくらいの活発なプレーが度々見られました。また、対戦相手投票による印象に残った選手(MIP)を選出し、授賞式も大変盛り上がり、学校で男子に自慢しようとする選手もいました。女子だけでチームが成立しないチームは、合同チームや助っ人で工夫をしていますが、どのチームも初めて一緒にプレーをする仲間を受け入れたり、喜びを共有したりと、勝敗よりも大事なものを学んだようでした。

テーマ別 活動紹介(障がい者サッカー)



バンクル茨城ダイバーシティフットボールクラブ
激しい雨の中もお構いなしに、最後までパワフルなサッカーをした選手たち。障がいがあっても、ボールを追いかける姿は皆一緒だ。



シーガルサッカークラブ
障がい者が生涯サッカーを続けられるように、指導の傍ら北海道各地を回り、当チームのアピールを精力的に行っている。

団体名	バンクル茨城ダイバーシティフットボールクラブ
認定テーマ	補欠ゼロ、障がい者サッカー
活動概要	インクルーシブサッカークラブ
活動内容	「サッカーを楽しみたい子どもに楽しめる環境を」当チームは、この信念の下、多様な障がい種の子どもたちを混ぜ、それぞれの得意と苦手を助け合うチーム作りが行われています。 普通の指導では、「100回失敗してみよう」と子どもたちに伝えることで、失敗を恐れずに挑戦し、成長するきっかけが作られています。また、子どもが初めて練習に参加する際、障がい種や苦手を自己紹介させています。お互いの特徴を理解しあい、助け合いながらサッカーに取り組んでいます。公式戦では、障がいの子どもたち対象の「ホーリーフェスタ2016」に弱視・発達・知的障がい等の選手で臨みました。相手は年上ばかりでしたが、全員全力サッカーでゴールをもぎ取りました。 当チームは、今後も、障がいに関わらず誰もがサッカーを楽しめる環境作りを精力的に取り組んでいます。

団体名	シーガルサッカークラブ
認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー
活動概要	障がい者が生涯サッカーをやる環境を作る
活動内容	当クラブは、健常者と障がい者が同じコートで練習しており、練習を終えたばかりの健常者が障がい者チームに混じって練習する光景が時折見られる。初めて障がい者と接する選手も同じコートで一緒にボールを蹴ると、障がいに対する偏見もなく一生懸命にボールを追いかける。 人にはそれぞれ個性があり、その集合体として社会がある。本来、障がいは分けるべきではないと考えている代表者は、障がいの有無に関係なくどの選手も同じ環境でプレーさせ、特別扱いをしないように接している。そして、それぞれの特徴にあった指導をし、選手たちができることを増やせるように指導している。 近年、障がい者サッカー選手で上手い人だけを集めたチームはあるが、そうでない人たちがサッカーを楽しめるように障がい者が生涯サッカーをやる環境を作るように活動している。

テーマ別 活動紹介(障がい者サッカー)



FC東京
言語の違い、障がいの有無に関係なく、サッカーというツールを通して、参加者全員に笑顔が広まった。

団体名	FC東京
認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー
活動概要	デフサッカークリニック～タイとの国際交流～
活動内容	本イベントは、サッカーを通して言語の違いを超えて、コミュニケーションを取る積極性と障がいの垣根を取り払い一緒にサッカーを楽しみ、子どもたちの将来への視野を広げることを目的として開催されました。 タイのろう学校23名、日本のろう学校24名、FC東京サッカーズクール生30名で国際交流が行われました。一緒にサッカーをした後、バーベキューをしました。子どもたちは、言語の違いがありながらも、相手の目を見てジェスチャーをする等の工夫をして、コミュニケーションを取っていました。スクール生の保護者からは、「障がいのある人や外国の方と関わる中で、できないことができるようになった息子の姿が見られた」等の嬉しい感想が集まりました。 今後もダイバーシティの観点から、様々な人とサッカーを通じて笑顔になり、成長する機会が作られていくことが期待されます。



横浜F・マリノス
障がい者サッカーの取り組みに注力している横浜F・マリノスは、知的障がい者サッカーのチームを持ち、電動車椅子サッカーの大会を開催している。次にどんな取り組みが行われるのか期待される。

団体名	横浜F・マリノス
認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー
活動概要	電動車椅子サッカー横浜大会
活動内容	本大会は、電動車椅子サッカーの普及・関心の向上を目的として開催されました。また、他地域との交流、選手育成も狙いとされました。 本大会は、2002年から開催されており、今回は電動車椅子の速度が6キロ以下と10キロ以下の2カテゴリーで実施されました。 6キロのカテゴリーは、先を予測して先手に動く必要があり、コンビネーション重視の緻密なサッカーです。10キロのカテゴリーは、ダイナミックなサッカーで展開も早いサッカーです。それぞれのカテゴリーによって、観る観点も変わり、観戦者も楽しめるサッカーです。 横浜F・マリノスは、将来的に電動車椅子サッカーチーム設立を目指し、既存の知的障害者サッカーチームと併せて、障がいの有無に関係なく誰もがサッカーを楽しめる環境を目指しています。

メディアパートナーの掲載実績

サカイク

JFAは、JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度 メディアパートナーとして、ジュニアサッカーの保護者向け情報サイト「サカイク」等を運営する株式会社イースリーと契約を締結しました。現在、「サカイク」に、賛同パートナーの活動記事が定期的に掲載されています。

※メディアパートナーは、賛同パートナー制度で掲げている「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者サッカー」の3つのテーマの活動を発信していくパートナーになります。

掲載日	取材先	タイトル
2016年 7月25日	上鷺宮少年サッカークラブ	サッカー少年に補欠ゼロのリーグ戦を！上鷺宮SCがはじめた"あすなるリーグ"とは
2016年 7月28日	〃	「子どもが成長するために必要なのは練習よりも試合」上鷺ノ宮少年サッカークラブが"あすなるリーグ"をはじめた理由
2016年 9月 6日	あざみ野キッカーズ	現役バリバリ71歳！あざみ野キッカーズの國方徳二さんが実践する"ずっとEnjoy"の精神
2016年 9月 9日	〃	ゆるくやるのがいいんです！あざみ野キッカーズが心掛けるサッカーを楽しむコツとは
2016年 9月29日	白岡市サッカー協会	そこに行けばサッカーができる場所を用意したい！白岡市サッカー協会の挑戦
2016年 9月30日	〃	熱心に指導することを勘違いしている！サッカーを楽しむために白岡市サッカー協会が取り組むこと
2016年10月19日	パンクル茨城ダイバーシティフットボールクラブ	減点方式ではなく加点方式が子どもの可能性を引き出す
2016年10月25日	〃	「100回失敗してみよう！」子どもがサッカーを心から楽しむための合言葉
2016年11月15日	特定非営利活動法人春日イーグルス	「大会でいい成績を取めるより、子どもにとって楽しい居場所に」スポーツクラブのあるべき姿とは
2016年11月17日	〃	サッカーは楽しくなければいけないし、みんながプレーできるのが理想
2016年12月26日	特定非営利活動法人プチユナイテッドアスリートクラブ	フットサルは年齢も性別も関係なく、とにかく楽しめるのが良いところ
2016年12月27日	〃	「ここにいなさい！」子どもたちの居場所づくりのために
2017年 1月25日	シーガルサッカークラブ	とあるコーチが少年サッカーチームにハンディキャップ部門をつくった理由
2017年 1月27日	〃	「障がい者を教えることは、健常者を教えるうえでも役に立つ」障がい者を特別扱いたくないサッカーコーチの言葉
2017年 3月 2日	特定非営利活動法人スポーツクラブ・エスペランサ熊本	「次のステージでの成長のために」チームの成績より大切なものを養うエスペランサ熊本の独自指導
2017年 3月 3日	〃	サッカーを楽しく続けるために「試合結果よりも、魅力を持った人間になることを追求」



サッカーを、もっとみんなのものへ。



各団体2016年度活動報告

北海道

札幌中央フットボールクラブ

引退なし・U12世代の女子の活動において、どうしても男子選手と部活動に馴染めずに入らなかった卒業選手を低学年組の指導者(サポートの存在)として受け入れることで、通常の活動に参加させることによりサッカーからかかる機会を失わないように務めた。結果、フットサルのエスポラーダ北海道のスクールに通い始め、女子上部団体のエスポラーダ北海道イルネーヴェへの道を開くチャンスを作ることができた。(2016~2017通年活動)
補欠ゼロ・・・在籍選手が50名を突破し、力量差が出てしまうこともあり、公式戦ではどうしても出場機会のない選手も出てしまったりしたが、多くの任意大会に参加する際は複数チームで参戦し、活動の場を増やす。さらには受験などの後半活動参加できなかった選手にも最後の活動の場を増やすために、自チームで「GraduationCup」という卒業生主体の大会を開き、出場チャンスを作った(大会開催日2017.2.25.26、8チーム参加(うち2チームは自チーム参加、参加選手数110名程)

低学年組では、レギュラーチームなどの意識を持たせず、全員で活動を共有する場を細かく作り、問題点も共有することで仲間意識を高め、どの選手も均等に試合の出場時間やチャンスを生み出せるように、またその活躍をたえらるような雰囲気作りをすることで、地区協会主催のファミリーフットサル大会では全員で優勝することができた。(2016~2017通年活動、大会優勝2017.3.19)

障がい者サッカー・・・特別支援学級の選手を2名受け入れる。通常の活動内でもできるだけ分け隔てなく健常児と一緒に行動。難しい場合は高学年がサポートしていくように指導者から促すように行なった。(2016~2017通年活動)また2017年度の活動として、チームとしては2年前にも開催したろう者サッカーとの交流を行うことを実施予定。(2017.10月開催予定)

シニアサッカークラブ

①障がい者サッカー
毎月3~4回、土曜日の夜または日曜日の日中に練習会を実施しました。場所は主に北海道石狩市内の学校開放体育館です。メンバーは9名ですが、仕事の休みが揃わないことから、1日の参加者は入れ替わりながら4~6名ほどです。

月に2回ほど他部門(U-15、レディース)と隣り合わせで開催し、最後のゲームは混ざり合ってチームを組んだり、互いに対戦したり交流を固めました。

②補欠ゼロ
5月から9月までの土曜日(計8日間16試合)に開催された「こくみん共済リーグU-12」(実施場所は札幌市・江別市・石狩市の学校や公共施設のグラウンド)のエントリー選手18名全員を試合に出場させ、全員にスターティングメンバーを経験させました。

③引退なし
レディース(U-12のメンバーのお母さまを中心に、高校生から40歳代までの17名の女性で構成)のフットサル練習会を月に2~3回実施しました。

実施場所は主に石狩市内の学校開放体育館です。
6月2月には他のチームを招いてU-9とファミリーの部も含めた交流試合を主催し、11月3日には「JFAファミリーフットサルフェスティバル」にレディースとファミリーのチームで参加。お母さまのみならずお父様方にも参加いただいた、年齢性別を問わず長きに亘りサッカーやフットサルを楽しんでいる空間づくりの足掛かりとなりました。
また、レディースのメンバーの中には、保育士が2人(1人はキッズリーダー)お

り、不定期でU-6の指導を援助してもらい、また保護者でキッズリーダーの女性には毎月2回実施している幼稚園の訪問指導をサポートしてもらい、12月に札幌ドームで開催された「ユニクロサッカーキッズ」には当クラブのU-6とその幼稚園のコラボで参加。生涯スポーツとしてサッカーを楽しむきっかけづくりにもなりました。
そして、代表者の私も2017年からシニアのチームへ復帰し、自ら生涯スポーツとしてのサッカーを実践していく決意をいたしました！

特定非営利活動法人 ReBra

札幌市、函館市に於いて、定期的にエンジョイフットサル「フットサルしたい」この指しほしを開催。年齢、性別に関係なく素人から経験者まで楽しくフットサルで汗を流しています。

札幌会場:毎週木曜、フツッ・スポーツパークPIVO、参加者 延べ518名
函館会場:4~10月、毎月3回、函館フットボールパーク、参加者 延べ150名

ワイズクラブ剣道

毎月開催しているサッカースクール(約50名)において、クトロゲーム等みんなが参加しそして楽しめることを意識して取り組んでいます。また、年度末には、親子サッカー教室を実施。サッカーを通じた親子のコミュニケーションを意識して、走る、飛ぶ、蹴る等、様々な動きを体験してもらいました。笑顔が溢れる良い時間となりました。
これらも、更に充実した取り組みができるよう、我々も引き続きチャレンジしていきたいと考えています。

青森県

社会福祉法人 純心会 まるくども園

平成28年6月25日(土)「第7回友情杯サッカー春季大会」
平成28年10月1日(土)「第7回友情杯サッカー秋季大会」を青森県十和田市の十和田市陸上競技場で開催しました。

参加施設は本園を含む十和田市近郊の保育園、認定こども園から7施設。園児数にしておよそ140人がボールを運いかけました。
この大会は、運動機能のこどもを“無くす”“減らす”とともに、すべてのこどもの健康を願い、運動機能や能力に関係なく分け隔てなく、『補欠ゼロ』の理念に賛同する施設が集まり交流を図る取り組みです。
本園においては、この大会で26名の4、5歳児全員が試合に出場しボールを追いかけ、喜びました。同様に『障がい』を抱える子どもも同様の試合に出場し、友だちの思いやりや優しさも一緒に育むことができました。

宮城県

VOCK大崎レディースU15

実施日:毎週木・土・日ほか・金曜日(不定期)
場所:旧鹿島台第2小学校体育館・古川新江合川緑地公園サッカーグラウンド・色麻愛宕山人工芝グラウンド・南郷体育館・南郷グラウンドナイター
内容:サッカー基本練習・フットサル基本練習・人工芝・天然芝グラウンドでのサッカー練習
参加人数:10名~15名程度



SendaiForza

①SendaiForza F.C.の活動(引退なし、補欠ゼロ、障害者サッカー)
毎週土曜日13:00~17:30までの練習
毎回の練習では選手(知的障害のある方)や20人~30人、スタッフ10人程度が参加した。サッカーのスキルや障害の程度による複数のチームを編成することで、参加する誰もがサッカーを楽しむ活動となった。東北の障害者サッカーの大会は、大会ごとに競技者のレベルに合わせて複数のレギュレーションが用意されている。Forzaはほぼすべてのレギュレーションの試合に出場しており、すべての選手が大会に出場した。

②東北知的障がい者サッカー連盟としての活動(引退なし、補欠ゼロ、障害者サッカー)

1)東北IDサッカーチャンピオンシップの開催
大会開催日 平成28年5月14日(日)
大会会場 ベガルタ仙台泉パークタウンサッカー場
主催 東北知的障がい者サッカー連盟
主管 Sendai Forza
協力 株式会社ベガルタ仙台
宮城教育大学STALETE
後援 株式会社ベガルタ仙台
一般社団法人宮城県サッカー協会
日本障がい者サッカー連盟
日本知的障がい者サッカー連盟
仙台市障害者スポーツ協会/仙台市障害者スポーツ指導者協議会
宮城県障害者スポーツ協会/宮城県障害者スポーツ指導者協議会
賛 株式会社モルテン
審判団 宮城県サッカー協会審判部より6名派遣
参加チーム
オープンマッチ(11人制) 秋田県特体連、岩手FID、福島FID、Sendai Forza F.C.
エンジョイマッチ(8人制) 福島FID、Sendai Forza F.C. Next

オープンマッチ 試合結果

優 勝 Sendai Forza F.C.
準優勝 岩手FID
3 位 秋田県特体連
4 位 福島FID

以下は大会報告書の抜粋

今大会は、東北の知的障がい者サッカーの普及と交流を目的として、初めて試みた大会でした。また、3月に岐阜県で開催されますチャンピオンシップの全国大会へつながる大会でもあり、東北にて、新たな夢と希望も生まれました。この大会が第2回、3回と続いていきますように、これからも東北地方の知的障がい者サッカーを盛り上げていきたいと思っております。
東北知的障がい者サッカー連盟の立ち上げを共にし、お盆の真っ只中、遠いところご参加いただいた東北各チームのみならず、会場をお貸しいただき、運営にご協力いただいたベガルタ仙台さん、宮城県サッカー協会より派遣いただいた審判団の方々、仙台フォルトアを長年応援いただき、この大会の開催を心から喜んでくださった仙台市及び宮城県の障害者スポーツ協会のスタッフのみならず、大会の試合球をご提供いただいた株式会社モルテンさん、そして、保護者みなさま・スタッフ・ボランティアのみならず…今大会に関わっていただいたすべてのみなさまに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

うございました！
これがスタートと考えておりますので、今後ともよろしく申し上げます！

2)全国障害者スポーツ大会希望届いって大会TSGLレポート作成
Forzaスタッフで準決勝2試合、交流戦1試合、計3試合のレポートを作成。

3)ベガルタ仙台バリアフリーサッカーへの協力
定例の実行委員会へはスタッフ3名が参加。サッカー教室、大会ではスタッフ10名程度参加。

山形県

NPO法人サルバトーレ補引

公式戦(山形県リーグや全日本少年サッカー大会等)でエントリーメンバーの全選手を試合に出場させられた事です。

特定非営利活動法人ブチユナイテッドアスリートクラブ

「ずっとEnjoy」「だれでもJoin」
毎週木曜日。山形県米沢市立西部小学校体育館。参加者数延べ30名位。(クラブ会員除く)
中学生から一般男女混合によるフットサル練習及び試合を実施。
クラブ会員だけでなく、部活や仕事終了後、学校終了後の年齢問わずの男女が参集し、基礎トレーニングをこなし、その後、ミックスフットサルに汗を流した。
参加年齢層は、15歳から52歳までおり、参加者の居住地域も米沢市に限らず近隣市町からの参加もあり、フットサルのすそ野を広げる活動を実施した。

毎週日曜日。山形県米沢市西部小学校体育館。参加者数延べ50名位。(クラブ会員除く)
幼児から小学生、中学生から高校生などを主としてフットサル教室的な内容で、フットサルの場を提供。
男女問わずミックスで実施したほか、子どもに付き添った保護者へ交えた交流も行い、その年齢層は4歳から52歳まで幅広く、年代を越えてスポーツを通じた交流を継続実施した。

「補欠なし」
5月から12月まで開催される山形県フットサルリーグに加盟し、初心者を入れた選手構成のほか、17歳から52歳までの年齢構成でチームを作り、毎試合全員が出場する機会を与え、公式試合で本気でEnjoyできる環境の場を提供した。

「だれでもJoin」
平成29年12月11日。山形県米沢市立西部小学校体育館。参加者数15名。(クラブ会員除く。)
幼児、小学生、中学生から高校生のほか、一般男女を問わずのミックスフットサル会を開催。
参加者の中には、発達障害児3名もあり、全員で分け隔てなく基礎トレーニング、ボールを使った遊び、ミックスフットサルを実施。
JFAグラスルーツ推進部長の訪問を受けた。

各団体2016年度活動報告



茨城県

茨城県知的障がい者サッカー連盟

【フレンドリーサッカーフェスティバル】

ずっとEnjoy！ みんなPlay！ 誰でもJoin！

サッカー教室を2回開催。28年6月4日はNPO法人トラソス、29年1月14日は流通経済大学サッカー部と連携して実施した。

【ホーリーフェスタ】

ずっとEnjoy！ みんなPlay！ 誰でもJoin！

サッカーJ2のFC水戸ホーリーホックと一緒にサッカーを楽しむイベントを7月16日と8月11日の2回開催。中学生から社会人までのチームが参加するサッカー交流大会では、出場選手の最高齢が63歳。小学生が参加するサッカー交流会では、一緒に来ていた兄弟も一緒になってサッカーを楽しんだ。

【ほほえみカップサッカーチャンピオンシップ大会】

ずっとEnjoy！ みんなPlay！ 誰でもJoin！

県内のナンパーラブを決める大会。チャンピオンブロックとフレンドリーブロックを2つに分けて開催し、31チームが参加した。出場選手は、小学生から60歳代まで幅広い年齢の選手が出場。また、フレンドリーブロックでは試合の最後に、出場時間の短い選手から10人がPKを蹴り、その得点が試合の得点に加算されるルールとして行っている。チーム全員に得点のチャンスがある！

【チャリティサッカー大会】

ずっとEnjoy！ みんなPlay！ 誰でもJoin！

知的障がいのある選手の自立と社会参加の可能性を高める為の支援及び茨城県知的障がい者サッカー連盟の一層の発展を図るために、教職員及び施設職員、連盟の趣旨に賛同してくださる企業チームによるチャリティサッカー大会を29年2月26日に開催。特別支援学校の卒業生も参加し、大変盛り上がった。参加人数は268名

【茨城県選抜チーム】

ずっとEnjoy！ みんなPlay！ 誰でもJoin！

茨城県選抜チームを結成し、年間を通じて活動をしている。練習は毎週日曜日に実施。学生から社会人まで、およそ20～30名の選手が練習に動んだ。また、技術向上を目指す選手も幅広く受け入れ、切磋琢磨を続けている。

特定非営利活動法人ヴェレン大洗V

みんなPLAY

育成全カテゴリーにて練習試合、リーグ戦等で全員出場を実施(ジュニア・ジュニアユース)

ずっとENJOY

今年度スタッフ、トップチームへ2名OBが加入

・10/30ヴェレン大運動会開催@大洗町総合運動公園:400名の選手・保護者や関係者が参加

・1/7親子サッカー実施@大洗総合運動公園:300名が参加※同時開催初級蹴りイベント(もちつき・リフティング大会等)

・全てのイベントにおいて、キッズ・ジュニア・ジュニアユース・トップの全カテゴリーが関わるイベントとして開催された。

バンクル茨城ダイバシティフットボールクラブ

障がい児ジュニアサッカークラブ:15人

ブラインドサッカースクール:5人

ロービジョンフットサルチーム:7人

ブラインドサッカー体験教室開催:3回

ジュニアチーム試合数:公式戦2大会、親善試合9日

県大会のほほえみカップでは、唯一の小学生チームながら、全18チーム中7位の成績を収めました。

群馬県

蹴球団藤岡キッカーズ

◆社会人チームを組織し、それらを運営していく人材を育成する。

地域の各カテゴリーのクラブとも連携し、シニアチームや女子チームを選手に紹介する。

A:同組織の社会人チームは、現在20名ほどが、県社会人リーグ戦なので、活動中である。

40歳以上の選手は、別組織のシニアチームで10名ほどが、県シニアリーグ等で活動している。

ジュニアサッカースクールを卒団した女子は、別組織の地域の女子チームで、県女子リーグ等で活動している。

◆全ての選手が試合に出られるように試合数を工夫し、公式戦に於いてもメンバーを入れ替える。

A:練習試合や交流大会では、全ての選手を平均に試合出場出来るよう工夫している。

公式戦では、U-13カテゴリーについては、実施出来たが、U-15カテゴリーでは、勝負を優先し、補欠の選手が出ている。

◆現在は、活動できていないが、障がい者スポーツに携わる人材を育成し、その環境の必要性を地域に理解者をふやす工夫を考える。

A:現在の活動が手一杯で、特に活動できていない。

JOYFULサッカークラブ

2017年1月～3月

JOYFULで活動している選手向けに

全員レギュラーの大会を実施しました。

茨城県 3回 496人、富山県 2回 278人、群馬県 2回 804人、長野県 3回 582人、新潟県 1回 230人、栃木県 3回 816人、山梨県 3回 320人 今後も継続して行います。

Rafaga Club de Futbol

大人からKIDSまでサッカーを楽しめ、また試合になれば全員で試合に臨めます。

埼玉県

浦和グラソルパワーズ

1. 引退なし シニア50.60のカテゴリー新規加入部者5名登録

2. 補欠ゼロ 以下の試合で参加者は全員出場

埼玉県シニアリーグ、埼玉県関東シニア選手権予選大会、長崎ねんりんピック

国際親善シニアサッカー大会(ジョージア、ノースキャロライナーアメリカからコペンハーゲン―デンマークから)

NPO法人浦和スポーツクラブ

■ずっとEnjoy

1)60歳以上を参加資格として上限なし(現在80代が最高齢)のスーパーシニアサッカー広場を毎週木曜日13時～15時の定期プログラムとして開催。およそ30名の全員が参加しています。

2)毎週土曜日の夜に開催している星空スポーツ広場において、部活引退後の中学生や高校生を積極的に受け入れて、多年代(10歳～50代)でサッカーを楽しんでいる、概ね20～40名が参加。

■みんなPlay

1)大人向け生涯サッカーコースは毎週土日に活動しており、大会参加よりも練習を楽しむことを主眼におく、リーグ戦の参加では、出場機会の確保を図るため希望者をふりわけて2リーグに参加。

2)毎週月曜日と木曜日に行っているサッカー広場では幼稚園生～小学校6年生が300名参加。全員が等しく活動できるように配慮したプログラムを展開。

■誰でもJoin

1)ブラインドサッカー体験会

さいたま市を活動拠点とするブラインドサッカー日本代表の加藤さんを講師に招き、体験会を開催。昨年度は1回のみ、10名が参加。

2)CPサッカークラブの練習に参加

さいたま市を主な活動拠点とするASユナイテッドが開催する練習や体験会に参加。昨年度は3回、5～10名が参加。

3)クラブニュースによる積極的広報 ASユナイテッドさんの活動や、そのほかの障がい者サッカーや障がい者スポーツの状況をクラブニュース(現在194号)にて記載し、会員への啓発に努めている(昨年度は関連記事を6回掲載)。

FC REAL

実施日…2016年4月～2017年3月

場所…埼玉県、東京都各地

内容…4～6年生の少年サッカーのリーグ戦。普段の公式戦などに出場できない子供達にチャンスを与えようと実施しました。

参加チーム…26チーム

FCもんちっち

障害者サッカー

毎月1回練習会実施、グラウンド:埼玉県障害者センター

約子供25名、保護者26名登録

月1回の練習会で最初は自分の事が頼りっぱいで回りが見えなくバスはだせなかったが、何人かはバスが出せるようになってきた。コミュニケーションが取れてきたのかも。チームに分かれて試合をするが、参加できない子供、自分勝手に走り回る子供などサッカーにならない子供もいます。ただグラウンドで走り回り外のいい空気を吸う事が一番大切だと思います。みんな創造力豊かに自由に生きています。1月8日埼玉県主催障害者サッカーフェスティバルに参加、交流試合を行った。(浦和リズレディーズ選手も協力参加)

一般社団法人 埼玉県脳性麻痺7人制サッカー協会

2016/12/20 埼玉県障害者交流センターにて障害の有無にかかわらず混ざってサッカーを楽しむイベント「ボーダーフリーサッカー2016」を開催(参加者40名。CPサッカー&アンプティサッカー選手たちによるトークショー含む)

2017/3/19 同ボーダーフリーサッカー2017(参加者50名、ソーシャルフットボールの選手たちとの交流会含む)

2017/1/15 CPサッカークラブ「ASユナイテッド」&中野吉之伴さん交流会 2017を開催(参加者30名)など

白岡市サッカー協会

1種部:市民リーグ 7節・市民体育祭 6節 市登録8チーム

3種部:学校対抗中学卒業記念大会(中体連・クラブ登録の別なく出場できる) 3/18 総合運動公園 市内4中学校

シニア部:シニアリーグ 前期5節 後期5節 登録5～6チーム

4種部:少年団とクラブ登録の統一4種部スタート

南中野ダックスFC.

補欠ゼロ:全員が多くの試合を経験できるように、近隣チームとのリーグ戦参加とホームグラウンドでの交流試合を多く行うことができた。

(参加した大会、リーグ名)

見沼ふれあいカップ、青葉リーグ、SNSリーグ、東大宮コスモス杯、春岡FCチャレンジ杯、フィマンCUP(朝鮮民主主義国主催)、流星杯、大砂土FC杯、さいたま北部スポーツ少年団大会、尾瀬武尊ジュニアサッカー交流会、アンプティサッカー交流会

(来訪チーム)

浦和尾木SSS、大和田ジュニアーズサッカースポーツ少年団、東大宮コスモスサッカースポーツ少年団、大宮春岡FCスポーツ少年団、大宮流星サッカースポーツ少年団、大宮七里スポーツ少年団、大宮ジャックスFCスポーツ少年団、大和田FC、大宮南ウイングスフットボールクラブスポーツ少年団、大砂土FCスポーツ少年団、ひばりジュニアーズ、大宮FC寿能スポーツ少年団

引退なし:適時卒団生のOB戦やお父さんが子供との試合を行った。少年団対抗チームママさんサッカー大会に参加(フワワーカップ)

交流会:アンプティサッカーチームと交流体験会を親子で参加した。体験会にはFCアウボラダ(日本アンプティサッカー協会公認チーム)の選手と試合や体験指導していただき貴重な経験をした。

各団体2016年度活動報告

寮居サッカークラブ

毎週水曜日 年齢性別関係なく全員が楽しく本気にサッカーに取り組んでいます。
また、週末にはリーグ戦に参加しているほか中学生や女子サッカー、シニアまで幅広くサッカーの普及、競技に取り組んでいます。

ra`pido futsal club

2017/1/22 埼玉県上尾市フットサルアリーナ上尾 フットサルクリニック 15名参加

LIVRO白岡SoccerClub

Bomdaiサッカー教室・・・
実施期間一夏休み、春休み
開催場所一当クラブ所有グラウンド(人工芝)※フットサルコート1面サイズ
内容一FUNトレーニング-FUNゲーム
風船や大小様々なボールを使ったトレーニングやゲームを開催
参加者数一各日20名前後、夏休み延べ350名弱、春休み延べ180名弱

サッカースクール・・・

実施期間一平日(週3～5)
開催場所一当クラブ所有グラウンド(人工芝)※フットサルコート1面サイズ
内容一基礎技術の本質を用いた「遊び」をメインとしたトレーニング。
参加者数一各カテゴリー10名～30名

千葉県

TODOS UNIDOS

実施日:通年
場所:柏市・松戸市・八街市・佐倉市・千葉市
内容:練習や大会 対象者:ファミリー 参加者数:50名以上

ドリームチャレンジフットボールファン

2月11日(土)千葉県白井市運動公園グラウンドで『補欠はゼロだサッカー』を行いました。この日は「第4回なでしこひろばしりし」と同時開催となり、幼稚園児から40歳代の男女総勢20名が集まりました。大ききの異なる3つのコートを作り、3対3、5対5、7対7などをメンバーを入れ替ながら試合をしました。子供対大人、女性対男性、右足だけゲーム、左足だけゲーム、アイスホッケーのようにゴールの後ろも使えるコートにするなど、いろいろな形で全員が全てのルールで参加しました。最後はコートを大きくして、チームはみんなまで決めたメンバーで10対10の試合で締めくくりました。

NPO法人 幕総クラブ

千葉市民サッカー祭り運営 11月7日 フクダ電子スクエア・大人から子供までの異世代サッカー・参加者約500名・チャリティも実施熊本県サッカー協会に送る。

東京都

ApreDiver

活動は通常の活動のなかで行なっているもので、新たに実施した活動はありません。
障がい者サッカー連盟等の活動に参加、視察を行なっていると云う現状です、手話講習会にコーチが参加し、受け入れる環境を整える様に努力をしています。

FCアンピシャス

小学生各学年において、区内の大会に複数エントリーし、全員招集、全員出場を目指しました。予選リーグの場合、すべての選手に出場機会を与えることができたが、トーナメント戦の場合、残念ながら全員出場が叶わなかった試合もありました。その場合、次の練習試合等で出場機会が無かった選手を優先的に出場させ、出場機会の平均化を進めました。
また、2016年度から始まった「区内3年生育成リーグ」に参加し、勝敗よりも育成に重点を置いた趣旨を尊重し、前期リーグ戦は全員出場を果たしました。

FC東京

「引退なし」賛同パートナー
おとなのサッカー教室(不定期開催年間172回/述べ3,000名)
ミセスサッカーフェスティバル(5月6日・7日/271名)
指導者講習会(不定期開催年間19回/986人)

「補欠ゼロ」賛同パートナー
ジュニアサッカーフェスティバル(8月17日～20日/302名)
チャイルド&ファミリーサッカー大会(8月28日/283名)
「障がい者サッカー」賛同パートナー
わくわく、にこにこ、きらきらサッカー教室(不定期開催/13回/325名)
あおぞらサッカースクール(年間36回/13名)
デフサッカークリニック(8月29日/60名)

一般社団法人Enjie

2017年9月25日開催
味の素スタジアムにて
イベント名:Enjieチャリティフットサルスペシャルイベントin味スタ! 2016
473名参加
国籍、年齢、レベル、障害有無を問わずだれでも参加できるイベントとして実施した。
小学生から70代シニアチームまで幅広く参加。
外国人36名、外国ルーツのチーム数チームも一緒に参加。
身体の障害の有無についてはフリーで参加。
会場でハンドスタンプロジェクトとコラボ企画で、ダウン症の子どもの手形の周りをフットサル参加選手の手形で囲んでもらう企画を実施。
東京ヴェルディさんにも協賛いただき、ヴェルディレナーによる誰でも参加できるサッカークリニック体験も実施。



オンセドリームプロジェクト

2016.12.11
横浜市日産スタジアム、
オンセドリームチームとして2016日産スタジアムオヤジサッカー大会に参加
公募シニアチーム、熊本、九州F.A選抜とのシニア交流試合、18名参加
決勝は熊本、九州F.A選抜と対戦して優勝しました。全員出場での優勝です

2017
1/30,横浜市,jungle10スポーツクラブ、
ウオーキングフットボール体験、シニアソサイチ交流会、40名参加
3/12,横浜市、横浜美術大学グラウンド、障がいサッカー神奈川選抜チームを招待しての壮行試合と練習グラウンド提供、ウオーキングフットボール体験、シニアサッカー交流大会、50名以上参加
3/20,横浜市,jungle10スポーツクラブ
ウオーキングフットボール体験(障がいスポーツ応援活動をしている参議院議員葉師寺先生参加)、シニアソサイチサッカー交流、25名参加

カフリング東久留米

【ずっとエンジョイ】
2017年4月 シニアサッカー0-40に新規加登 登録人数15名
※40歳以上の方も楽しんでもらえる環境作り

【みんなエンジョイ】
2016年4月～ 隔週1回活動 ママさんクリニック 人数15名
毎週1回活動 大人の初心者クリニック 人数15名
2016年11月～毎週金曜日 ガールズフットサルスクール 人数10～15人
2017年3月 ママさんフットサルチーム始動 人数6人
2017年4月 おやこクリニック 人数10組
2017年4月 フットサル場オープン
※たくさんのカテゴリーの人が定期的に楽しめる環境を。

【誰でもジョイン】
2016年4月 茨城県障がい者サッカークリニック
2017年4月29日 東久留米市チャリティサッカーフェスティバル 内にて障がい者フットサルチームとイベント開催予定

上鷺宮少年サッカークラブ

U-12リーグ実施に伴い出場機会が少ないプレーヤー達対象の「あすなるリーグ」を2016年度東京4ブロックチームを中心に開催実施しました。
2016年4月～10月まで中野区立上鷺宮小学校で延べ700人が参加することができました。参加頂いた他チーム保護者の方から「自分の息子が試合に出場するのを観たり、応援できたことが嬉しかった。あすなるリーグがなければ4月～10月までベンチからの応援のみで試合を経験することが出来なかっただろう。あすなるリーグがなければサッカーを引退して中学校受験していたらどう。是非、2017年度も実施してほしい。」又、少子化が急に進んだチームからは「2017年度に6年生が3人、5年生が2人、4年生が4人なのでU-12リーグには参加しないのであすなるリーグに参加させてほしい。」と問い合わせがあった。
運営面・グラウンド確保で問題はありますが自チームのコーチ(お父さん)を増員し、U-12リーグを他チーム会場でお願ひすることによって2017年度も継続実施

施すことにしました。多分、帯チームのライフ・ワークになると思います。又、事情で12歳を超えている選手も参加可能としています。

株式会社クリエイティブヘッズ(エフチャンネル)

【ずっとEnjoy】
■レベル/年齢分けについて
大会というコンテンツを通して、フットボールを「楽しんでいただく」ために、様々な取り組みを行っています。
必ずしも勝ったチームが称えられるような仕組みではなく、表彰チーム以外も楽しめるようにレベル分け、年齢分けをしています。
例えば、エンジョイ志向のチームに向けては、優勝チームに賞品を贈呈するのではなく、大会後のミニゲームで勝利したチームへ賞品を贈呈しています。

【ミニゲーム内容】
(フットボールに特化したもの)
ドリブル競争、クロスバー当て、リフティングプレーなど
【フットボール以外のもの】
縄跳び、腕相撲、椅子取りゲーム、ジャンケン、サイコロ、しりとりなど

フットボールだけを楽しむのではなく、大会後のチーム同士の交流なども通じてお客様に笑顔になっていただきたい、そのような願いから実施しています。

□レベル規定-詳細
http://www.f-channel.net/web/kiyaku-top3.html

■年間大会数(2016年度)
フットサル・・・756
ソサイチ・・・1957
サッカー・・・15
ビーチサッカー・・・12

関東・関西・東海/北海道の各地域において、合計2740大会を開催しました。

【みんなPlay】
当大会の中でも、とりわけ「ソサイチ(7人制サッカー)」は近年急速に需要が広がり、【1957】もの大会を開催する事が出来ました。
交代自由(レフリーに申告せずに自由に交代可能)のルールを設定していることにより、チーム内での交代が活発に行われます。
先発と補欠、という概念がそもそも存在しておらず、みんなが平等にフットボールを楽しんでいます。
チーム数としては延べ約5万チーム、人数としては延べ約50万人の方に楽しんでいただきました。

【だれでもJoin】
■ブラインドサッカー協会様との取り組み
「2016年7月にアミ/バイタルフィールド(東京都調布市)にて開催された「ブラインドサッカー-日本選手権」との共催フットサル大会」※10チーム参加
「2017年3月に富士通スタジアム川崎(神奈川県川崎市)にて開催された「ブラインドサッカー-東日本選手権」との共催ソサイチ大会」※10チーム参加

上記を一般参加者向けのワンデイ大会として開催しました。
「一般のフットボールプレーヤーの方々へブラインドサッカーを知っていただく

各団体2016年度活動報告



機会の創出」というコンセプトのもと、共同で開催しています。

すぐ隣でブラインドサッカーの公式戦が行われていたり、ブラインドサッカーの体験アースがあったりと、いつもの当社フンデイ大会とは違った雰囲気をお客様に味わっていただき、このような競技があることをひとりで多くの方に知っていただくキッカケになればと願いを込めて、ブラインドサッカー協会様と一緒に取り組んでいます。

■エスベランサ様(CPサッカー)との取り組み

富士通スタジアム川崎(神奈川県川崎市)、SPORTS JUNGLE 10(神奈川県横浜市)、バライーン国分寺(東京都国分寺市)、マリノス東山田(神奈川県横浜市)

全4施設でのソサイチ(7人制サッカー)大会を拠点に、エスベランサ様主催のソサイチ大会をサポート。

ブラインドサッカー様同様、「一般のフットボールプレーヤーの方々にはCPサッカーを知っていただく機会の創出」

というコンセプトの元、共同で開催しています。

エスベランサ様からチームを出していただき、その他は弊社サイトでチームを集めます。

集まったチームで、障がいの有無に関係なくソサイチ(7人制サッカー)の大会を行います。

ルールに関しては一部、CPサッカーのルール(スローインの投げ方など)を採用し、ひとりで多くの方に知っていただくキッカケになればと願いを込めて、エスベランサ様と一緒に取り組んでいます。

CPサッカーは競技人口が少なく、対戦相手の手配に苦労していました。当社大会はレベル分けをしっかりと行っていますので、競技志向ではないチーム様とCPサッカーチーム様とで大会を開催することは非常に良い試合の機会となっております。

■毎月フットボールクラブ

JFAなどでひろばin毎月フットボールクラブ開催。3月5日(日)10時から12時。場所:しながわ中央公園

日本ろう者サッカー協会と連携して「手話deフットサル」を行いました。対象は、小学3年生から6年生の女子小学生。参加人数は18名でした。午後は、同じ会場で、ろう者、聴者、女子の小学生のチームが、総当たりで8人制サッカー大会を行いました。

■NPO法人スポーツカントリーアンプスタ

「補欠ゼロ」にて申請していたCLCチャレンジリーグは3月12日をもって、1年間で全日程を消化しました。次年度も5年生以下のBチーム選手が出場する公式戦として運営が決定しています。

「引退なし」にて申請していたJFAなどでひろば荒川は3月11日に第8回を開催しました。

年間を通じて述べ約500名の女性にご参加いただき、次年度も可能な限り多く開催をしていく予定です。

■NPO法人ゼロスポーツコミュニケーション

小学生年代から中学生年代の橋渡しは、ある程度できたが、その上の年代へはまだできていない。

実施日:原則毎週水曜日
場所:新宿区立早稲田小学校体育館

内容:特定のチームからの依頼によるサッカークリニックの開催。在籍選手及びOB(中学生)、当該チームのコーチ兼社会人またはシニア登録選手との合同トレーニング
随時小学生は14名程度の参加、最大中学生は2名参加、コーチ兼社会人またはシニア登録選手は随時1名

■千代田区サッカー協会

U8アキバキッズリーグ
7/24 9/3 10/23 11/27 1/22 2/12 3/26 全7回
参加選手数 174名

U8以下の順位をつけないリーグ戦
障がい者サッカー体験会の実施

生涯サッカーを続けられるよう楽しむサッカー

■東京都知的障がい者サッカー連盟

知的障害者サッカー教室の開催
年に30回の開催。東京都障害者スポーツセンター、東久留米スポーツセンター、武蔵野シティFCグラウンド、全日本大学サッカー連盟主催知的障害者サッカー教室の講師、北区主催知的障害者サッカー教室、杉並区主催知的障害者サッカー教室の講師派遣などを行なった。参加者はどの回も20名から30名ほど。

知的障害者サッカー大会、フットサル大会の開催。サッカー大会は5月、6月、8月、11月に開催。フットサル大会は7月、12月に開催した。

■一般社団法人日本ソサイチ連盟

【ずっとEnjoy♪】引退なし、【みんなPlay】補欠ゼロ

① ソサイチ大会の内、初心者・初級者・中級者向けとレベル分けされ、気軽に参加できるフンデイ大会を年間1500大会ほど後援しています。

(報告)
誰でも気軽に参加できるフンデイ大会を年間2000大会、後援しました。

ソサイチ(7人制サッカー)では、交代自由(レフリーに申告せずに自由に交代可能)のルールを設定していることにより、チーム内で交代が活発に行われます。先発と補欠、という概念がそもそも存在しておらず、みんなが平等にフットボールを楽しんでいます。

② 長期に渡ってソサイチを楽しみたいプレイヤー向けにリーグ戦を実施しています。関東エリアで2017年1月に開始し、順次、全国へ広がっていきます。また、カテゴリを拡大していきます。

(報告)
2017年1月～「FOOTBALL 7 SOCIETY 関東LEAGUE」(20チーム)
2017年3月～「FOOTBALL 7 SOCIETY 関西LEAGUE」(8チーム)

2017年5月～「FOOTBALL 7 SOCIETY 東海LEAGUE」(8チーム予定)
2017年6月～「FOOTBALL 7 SOCIETY 北海道LEAGUE」(6チーム予定)

アマチュアの中でも多くの競技志向の方が存在します。そういった方々に向けて、長期のリーグ戦を実施。

全国各地域に輪を広げたい、将来的には全国規模になることを構想しております。

③ 高いレベルでソサイチを楽しみたいプレイヤー向けに海外遠征を実施しています。年に3回ほど実施しており、イングランド・スペイン・シンガポール・タイなどに遠征しています。参加者の多くは、高校や大学の体育会やクラブチームで上をめざしていた選手たちです。何らかの理由で一度は競技としてのサッカーから離れてしまったものの、「もう一度、熱い気持ちでプレーしたい」という志を持った方々が集まります。

(報告)
2016年11月「ソサイチ日本選抜タイ・バンコク遠征」(22名参加)年齢制限なし
2016年3月「U23ソサイチ日本選抜タイ・パヤ遠征」(20名参加)大学生対象
2016年3月「U18ソサイチ日本選抜ドイツ遠征」(11名参加)高校生対象

競技志向の選手の中には「さらに上を目指したい」という選手も多く存在します。

④ 正しく普及させる為、国際7人制サッカー連盟が示す、競技規則に準拠してルール整備をおこなっています。また、ソサイチができるコートを増やすため、コートの仕様を決めたり、ソサイチ専用ボールを製造しています。

(報告)
■施設づくりのお手伝い
新規にフットサルコートを建設される方から、お問い合わせをいただくことが多くなってきました。

コートの有効活用という意味でも、出来るだけソサイチ(7人制サッカー)に対応できる施設づくりを推奨しています。

ソサイチ(7人制サッカー)に対応することで、アマチュアサッカーの普及はもちろんのこと、子供たちの利用増にも繋がります。

■専用ボールの開発
MIKASA様との共同開発による「ソサイチ専用ボール」を製造しています。

5号球でありながら弾まないローバウンドボールは、バウンドしないことで少し重たく感じるのですが、

① ロングボールをもよみに蹴らない
② ショートパスを繋ぐ現象が増える
③ ドリブルでのチャレンジが増える

さらに弾まないで「トラップがし易い」など様々な利点があります。

ブラジルで毎年4月に行われている南米最大の少年サッカー国際大会である「go cup」に出場する少年チームをサポート。

現大会へ同行し、国際7人制サッカー連盟との交流も活発に行っています。

BeYonDプロジェクトチーム

【引退ゼロ】
大学サッカー同好会の専門情報サイトを運営し、月間ユーザー1万、ページビュー数15万ビューを達成。

幅広いサッカーファミリーに同好会カテゴリの魅力を発信することができました。

■三鷹JFC

補欠ゼロのため別リーグ戦へのエントリーを行ったが、他の活動は積極的に活動ができなかった。

■神奈川県

■あざみ野キッカーズ

ジュニアの活動(卒団イベント)
1. 第17回あざみ野キッカーズ フェスティバル(卒団式)
・2017年3月19日 7:30～17:30 あざみ野西公園

・ジュニア121人、コーチ19人、保護者約100人
・6年生最後のサッカーイベントとして全学年が参加して一日中ゲームをやり

ました。
・1年生と2年生は4チームに分かれて総当たり戦を行いました。6年生が各

チームに2、3人入り監督として後援を指導しました。6年生もゲームに参加

できますが次の制限があります。(ペナルティエリアに入るとはいけません。パスはゴロのみで6年生同士のパス交換は禁止)

・3年生と4年生は6チームに分かれて総当たり戦(ルールは1.2年生と同じ)
・5年生と6年生はガチンコ勝負の2回戦をしました。

・6年生のババ連と6年生もガチンコ勝負の2回戦をしました。
・最後のゲームは6年生とコーチのガチンコ勝負1回戦でした。

・ゲームの後に卒団生に5年生からキャプティンレイを渡し、感謝の言葉がありました。6年生からはコーチ達に缶ビールが渡されました。

・最後に6年生からコーチや保護者への感謝の言葉があり感動を呼びました。

また、コーチ達からは6年間の成長の思い出やこれからの成長を願う送る言葉がありました。

2. 卒団パーティー
・2017年3月20日 17:30～21:00 オンワード総合研究所(宴会場)

・6年生35人、コーチ9人、保護者と家族約100人
・6年間の写真5700枚から峻別した全員の活動写真をパソコンでスクリーン

に投影しながら楽しく盛り上がりました。ニューヨークに駐在中の仲間もバコンのスカイプに参加しました。

6年生全員から感謝の言葉やコーチ達からの送る言葉もあり感動しました。
・6年生全員が唱和した思い出を次に披露します。

晴れの日も雨の日も雪の日も毎週休まず、練習に通った日々を、時には叱られたけれども、いつも熱い思いで指導してくれたコーチのことを、試合に勝った時のみんなのうれしそうな顔を、

試合に負けた時の悔しくて涙した日々を、レギュラーに選ばれて誇りに思った日々を、レギュラーになれなくて悔しい思いをした日々を、

ケガをして練習に参加できなかったつらい日々を、試合で応援してくれるお父さんやお母さんの声を、お父さん達が審判やグラウンド整備をしてくれたことを

各団体2016年度活動報告

そして、あざみ野にいつも戻ってこられるサッカークラブがあることを、僕たちは忘れてない。

エスペランサNEXT

実施日：毎週水、火、金曜日 日中心
場所：富士通スタジアム川崎地
内容：障害児のためのサッカー教室
参加者数：のべ1,100名

FC PORT

月2回の練習会の継続
川崎市都市ブランド事業と連携した障害児サッカー教室の開催
横浜ほべとカップの開催協力

KAZU SOCCER CLUB

みんなPlay
KANAGAWA ROOKIE LEAGUE
http://www.jfa.jp/football_family/grassroots/news/00011911/

ずっとEnjoy
①男前フットサル
月1～2回、大人と子供が一緒にフットサルを楽しみます。
②なでこサッカークリニック
月1～2回、対象は16歳以上の女性。コーチの指導のもとトレーニングとミニゲームを楽しみます。

川崎ジュニアフットボールクラブ

活動は毎週土曜日曜、朝7時～10時に川崎市立川崎小学校グラウンドで年長さんから6年生まで約80人が活動しております。

公田サッカースポーツ少年団

<引退なし>
2016年8月11日(木)海の日/公田SCのOBに声をかけて、OB交流戦を行いました。小学生で卒業したあとは、なかなか本人の連絡先が取れないこともあり、今まで多くのOBを出してきたが、このようなイベントはありませんでした。今後継続して引退なしというテーマで年に1度はOBフェスと題し交流戦や交流会を行います。また、これをきっかけに引退のないクラブを目指していきたいと思っております。

<補欠ゼロ>
2017年2月5日(日)/公田SC主催の公田カップにおいて、大会規程で補欠ゼロを要綱に入れて開催しました。
8人制3クォーター制。もともとの8人制の主旨に立ち返り、第1クォーターと第2クォーターは選手総入れ替えることで、すべての選手が試合に出ることを必須条件にしました。
また、公田SCに関しては、年間を通して満足のご試合数を経験させることを行ってきました。

試合帯同した選手で全く試合をせず帰って来ることはないという事を、年間を通して行いました。

<障がい者サッカー>
2017年1月28日(土)「手話deサッカー」イベントを開催しました。
日本ろう者サッカー協会の植松集人コーチとデフサッカー日本代表候補の原口凌輔選手をお招きし、コミュニケーションスキル向上と障害をもった方々の理解」という趣旨で開催しました。
公田SCに所属している4年生から6年生までの総勢44名が参加。
今後も、色々な形で障がい者サッカーを応援し、理解を深めたいです。

クライティーパーボFC

ずっとEnjoy・みんなPlay
サッカー広場(誰もが自由にサッカーをプレーできる機会の提供)
日時：2016年5月5日
会場：長坂谷公園
参加人数：24名
内容：クラブHPより告知をし、誰でも参加自由な形でサッカーをプレーできる機会を提供。子供から大人までが一緒のピッチでプレーを楽しむことが出来ました。また、直前に発生した熊本地震の募金活動も合わせて実施をしました。

ずっとEnjoy・みんなPlay
サッカー広場(誰もが自由にサッカーをプレーできる機会の提供)
日時：2016年7月21日
会場：長坂谷公園
参加人数：28名
内容：クラブHPより告知をし、誰でも参加自由な形でサッカーをプレーできる機会を提供。子供から大人までが一緒のピッチでプレーを楽しむことが出来ました。親子で参加される方や普段はサッカーをする機会の無い子供達も一緒にプレーをしました。また、普段は異なるチームに所属する選手と一緒にサッカーをすることも出来ました。

ずっとEnjoy・みんなPlay
サッカー広場(誰もが自由にサッカーをプレーできる機会の提供)
日時：2016年12月29日
会場：ジャンгл10ソサイコート
参加人数：34名
内容：クラブHPより告知をし、誰でも参加自由な形でサッカーをプレーできる機会を提供。子供から大人までが一緒のピッチでプレーを楽しむことが出来ました。年末の開催ということで、参加人数が集まるか不安でしたが、普段参加できない社会人の方にも多く参加頂いた。

ずっとEnjoy・みんなPlay
エンジョイフットサル(誰もが自由にサッカーをプレーできる機会の提供)
日時：毎月第2水曜日
会場：ナガトモフィールド
参加人数：10～15名程度
内容：普段はスクールとして活動している時間帯を子供達がだれでも自由に参加できる形で開催。90分の時間の中で自由な組み合わせでゲームを実施。



NPO港北フットボールクラブ

小学1年生から中学3年生まで、全ての所属選手が、経験量、技量にかかわらず、全ての公式戦に出場することができました。公式戦に出場機会なかった選手は一人もいません。

特定非営利活動法人CPサッカー&ライフエスペランサ

実施日：毎週日曜日 日中心
場所：横浜ラポール地
内容：サッカー練習、大会運営等
参加者数：のべ1,000名

知的障がい者サッカー推進連盟

・障がい者サッカーの普及・強化：2月5日エスタジオ横浜にてみんなでエンジョイサッカーと題して健康者シニア4名、健康者大学生5名、知的障がい児・者20名、発達障がい者5名、ごちやまにチームを作りゲームを開催。
2月18、19日知的障がい者神奈川県選抜チームの強化合宿、知的障がい者20名、健康者SC相模原U-15選手20名のTRMメイク
3月5日知的障がい児・者サッカー教室、知的障がい児6名、知的障がい者8名、指導者2名
・異なる障がい児・者との交流活動：4月1日知的障がい者神奈川県選抜VSろう者神奈川県選抜チームとのフットサル交流、大和ゆとりの森フットサルコート、知的障がい者12名、ろう者障がい者18名
・一般社会に対する障がい児・者サッカー理解を広げる交流活動：健康者シニアチーム(オンセーリウム5)VS知的障がい者神奈川県選抜TRMメイク、横浜美術大学グラウンド、知的障がい者20名、シニア40名

チームSMILEサラダ

2016年内はアディダスフットサルパークたまブラザーズにて、2017年からはコスタ横浜にて毎月1回のチーム活動を行なっています。また、チームSMILE交流戦にも8月に参加しました。平均参加人数は12名前後です。

ポットレーロFC

試合は、全員出します！前半と後半で総取り替えもします！

NPO大豆戸FC

引退なし・TOPチーム(高校生より上で20人、神奈川県リーグ)とシニアチーム(OVER40で22人、神奈川県リーグ、毎月二回の公式戦)の活動。
高校サッカーで燃え尽きた、OB選手たちにOB対抗戦という当時の同級生とその相手チームにも集まってもらい6年ぶりに対抗戦をおこなう「6年後の未来」という企画を過去に2回実施。そこで集まった選手たちがサッカーの楽しさを改めて感じて、TOPチームに参加。大学生活、仕事との両立の中でサッカーを自分のペースで満喫することができた。シニアチームは、設立からこれで5年目となる。子育てや一戦で活躍した選手たちが再び、サッカーを日々のストレスからの解放、職場以外の仲間との時間などでサッカーを楽しむ様子が見られた。

横浜かもめスポーツクラブ

・引退なし
・幼稚園生一日曜日体育館でのサッカー教室を月2回開催 9/11 25 10/29.16.23
11/6.13.12.12.11/8.22 2/5.19.3/20.26 横浜市立南神大寺小学校 各10名
・小学生→平日のサッカースクール、土日のサッカークラブ活動
サッカースクール 毎週月(横浜市立南神大寺小) 毎週水(横浜市立三ツ沢小)
毎週木(横浜市立神大寺小) 各20名
・中学生以上→毎週1回のフットボールスクールを1時間半
毎週木(横浜市立神大寺小)各20名
・シニア(30歳以上)→横浜リーグ、神奈川県リーグへ参加
横浜リーグ5/29 谷本公園 G 15名 6/12 常盤公園 15名
7/3 新横浜公園 G 15名 10/2 長坂谷公園 15名 12/4 三ツ沢上 15名

・補欠ゼロ
小学生年代では、公式戦では全員が試合に出られないこともあります。数多くの試合の場を確保するために、年間通したリーグへ2つ登録。練習試合も数多く行っているサッカー年齢(個々のレベル)に合わせた活躍の場を提供しています。
練習試合 9/2.3.10.18.10/2.9.15.11.5/13.19.27.12/3.4.17.18.1/7.2/4.11.25
神奈川県内各グラウンド 参加各日 10名～20名

横浜F・マリノス

【みんなPlay！】
10月10日(月)日産追浜総合グラウンド(神奈川県横須賀市)で「横浜F・マリノス グラスルーツフェスティバル」を開催しました。
本フェスティバルは、サッカーを「楽しむ」と「上達」することを目的として行われ、小学校1年生70名、2年生54名の計124名が参加しました。
サッカーに必要な基本テーマを設定し、色々な楽しみを体験させるトレーニングを行い、最後に試合を行いました。
今後も、サッカーを「楽しみ」と「上達」することを目的に、他学年の開催も視野に入れながら継続していく予定です。

【だれでもJoin！】
横浜F・マリノスの知的障がい者サッカーチーム「futuro(フトゥーロ)」が、8月6日(土)、7日(日)の2日間、時之栖スポーツセンター(静岡県)で開催された「全日本知的障がい者サッカー交流大会」御殿場サマーカップ'16」に参加しました。
同大会は誰でも参加できる大会をうたっており、サッカーの上手さや障がいの度合いに関係なく、多くの選手が参加する大会です。

2017年1月21日(土)、神奈川県障害者スポーツ文化センター 横浜ラポールで、「第14回横浜F・マリノスカップ電動車椅子サッカー横浜大会」を開催しました。
電動車椅子サッカー競技の普及を目的とし、ほかの地域も含めた交流、選手育成をはかると共に、認知度、関心度の向上を目指して行われました。
横浜F・マリノスは将来的には電動車椅子サッカーチームの設立を目指し、また、障がい者、健康者が一緒にサッカーを楽しめる環境を目指しています。

各団体2016年度活動報告

株式会社レゴロ

□□「補欠ゼロ」

2016年9月7日から毎週水曜日、フットサルコートTipi(大和市上草柳4-8-4)にてジュニアスクール活動を開始し、2017年3月29日まで延べ28回の練習を行いました(スクール生8名/体験生10名)。選手一人ひとりの「強み・個性」に寄り添った指導を行うことで、すべての選手が「補欠(という劣等意識)」と無縁な自分らしい成長の過程を歩きました。また指導者支援活動の一環として、ジュニア年代の指導に携わる方々をスクールの指導現場に招き(3回延べ5名)、『問題解決コーチング』の実践を通じて「選手全員にプレー機会を与えること」のさまざまな有用性をお伝えしました。フィールド外でも、「日本サッカー指導者協会の指導者向け情報メディアでの執筆」「千葉県サッカー協会主催イベントでの指導者向け講演」「クラブチームでの選手・保護者向け講演」「各地での少年サッカー指導者向け勉強会・ワークショップ」「ソーシャルビジネスイベントでの講演(テーマ:少年サッカー指導の課題解決)」「異分野交流コミュニティでの講演」「サッカー少年団で選手・保護者向けスピーチ」などで、補欠ゼロに繋がるお話を延べ1,000名の方々とさせて頂きました。また、2017年3月4日にホテルKSP(川崎市高津区坂戸3-2-1)にて、レゴロ監修の冊子『コーチング初心集』をもとに日頃の指導を振り返る対話型ワークショップ(参加者5名)を開催し、「補欠ゼロ」を実現する指導者の考え方や工夫について意見交換を行いました。

□□「引退なし」

ジュニアスクールや指導者支援の活動を通じてサッカーの本質理解を深め、とりわけ個人差の現れやすい体格や体力とは別の要素(ゲームやプレーに働くロジック等)の探究を進めました。今後、この成果をより広くサッカーファミリーと共有することにより、年齢に応じて体力やスピードが衰えても引退することなく継続してプレーできる選手の拡大に貢献していきます。それ以外も、「日本サッカー指導者協会の指導者向け情報メディアでの執筆」「千葉県サッカー協会主催イベントでの指導者向け講演」「クラブチームでの選手・保護者向け講演」「各地での少年サッカー指導者向け勉強会・ワークショップ」「ソーシャルビジネスイベントでの講演(テーマ:少年サッカー指導の課題解決)」「異分野交流コミュニティでの講演」「サッカー少年団で選手・保護者向けスピーチ」などで、引退ゼロに繋がるお話を延べ約1,000名の方々とさせて頂きました。一方で「引退なし」に寄与する活動の規模はまだ十分とは言えず、年齢・性別の制限なく横断でフリー参加できるプレー環境の提供や、4種から3種への活動領域の拡大は、次年度以降の中期課題であると考えています。

長野県

三郷サッカースポーツ少年団ジュニアユース

シーズンを通じ、それぞれのカテゴリでのリーグ戦、トレーニングマッチなどで登録された選手を全選手が試合に参加でき、チームのビジョンである個の育成を最大限の目標とし、体力・技術・判断力・コミュニケーションの能力の向上を図ることができた。

一般社団法人筑北スポーツ振興協会

幼稚園・保育園巡回を月に2回、小学校体育サポート活動を毎日、子ども向けスポーツ教室(20名)週2回、ヨガ教室(10名)、エクササイズボクシング教室(10名)、ゴルフ教室(8名)、運動教室(25名)、筑北村村内体育施設にて実施

PLAY MAKERプロジェクト

引退ゼロを目指し、チームと選手が出会えるサイトを確立し、昨年度は15名の競技を続けたい選手とチームの出会いをサポートすることが出来ました。登録選手数が390名、チーム数が62チームと益々利用者が増えている状況です。競技志向の強い選手が、大学卒業後や、セカンドキャリアへ移行した後も競技を続けてもらえる様、活動を運進していきたいと思ひます。

新潟県

フリーグダム新潟FC

【ずっとENJOY】

- ・実施日:毎週土曜日
- ・場 所:潟東体育館または潟東サルビアサッカー場
- ・内 容:年齢・性別・経験の有無を問わずみんなでサッカーを楽しんでいます。
- ・参加者数:5~20名
- 【みんなPLAY(補欠ゼロ)】
- ・実施日:試合の行われる日
- ・場 所:各試合会場
- ・内 容:公式戦、練習試合を問わず、U-12・U-15共に参加者は必ず試合に出場しています。
- ・参加者数:約20名程度(その日によって違います)
- 【だれでもENJOY】
- ・実施日:5月
- ・場 所:中野山小学校ほか
- ・内 容:元OPサッカー日本代表、大橋佳介さんのお手伝いをさせて頂いています。
- ・参加者数:指導スタッフ約8名と児童約80名

見附小学校サッカークラブ

- ①見附サッカーフェスティバル
実施日:平成28年6月11日(土)
場所:見附市元町運動公園
内容:「子供達の未来と可能性へ向け、補欠ゼロを目的とする」および「サッカーの実践を通して、技術の向上と親善交流をはかると共に、青少年の健全育成を目的とする」をテーマに掲げ、見附市と近隣の栃尾市、長岡市から5チームを招待して、総当たりリーグ戦。
又、フレンドリーマッチとして、親子対決を実施。
参加者数:子供100人、大人30人

- ②第31回ロータリー市民サッカー大会
実施日:平成28年10月8日(土)
場所:見附市元町運動公園
内容:「リーグ戦による補欠ゼロ!」宣言(※全員参加)
又、フレンドリーマッチとして、親子対決を実施
参加者数:子供100人、大人100人

- ③見附フットサルフェスティバル
実施日:平成28年12月4日(日)
場所:見附市総合体育館



内容:「サッカーの実践を通して、技術の向上と親善交流を図り、全選手出場・補欠ゼロ!」により、子供達の挑戦する心を育てる」
参加者数:子供100人、大人30人

④アルビレックス新潟シンガポール前監督嶋尾さんサッカークリニック
実施日:平成28年12月7日(水)
場所:見附小学校体育館
内容:元プロ選手の技に触れる事により、子供達が夢へ挑戦する心を育てる
参加者数:子供30人、大人10人

静岡県

CONFIANZA

チーム全員が大会に参加し、主催大会でも年齢問わず参加ができた。

清水エスパルス

- ①ハンディキャップサッカー教室(会場:静岡北特別支援学校)
5月22日~3月5日/全23回、各回55名程度参加、ボールフィーリングを中心の練習
- ②特別支援センターサッカー教室(会場:SDF静岡)
4月27日~3月22日/全12回。各回30名程度参加、対人練習やドリブル・シュート
練習を行った最後は試合
- ③アンプティサッカー体験会(会場:IAIスタジアム)
10月8日、参加者20名程度、体験会からクラッチを使っのゲーム
11月12日、参加者30名程度、体験会からクラッチを使っのゲーム

- ④2年生招待サッカー大会(会場:ナショナルトレーニングセンターU-STEP)
9月4日、参加者108名
他Jクラブのチーム招待しての大会
- ⑤ビギナーズスクール(会場:エスパルスドリームフィールド県下4施設)
4月~3月40回×4施設
エスパルスドリームフィールド駿東:参加者、各回15名
エスパルスドリームフィールド清水:参加者、各回15名
エスパルスドリームフィールド静岡:参加者、各回20名
エスパルスドリームフィールド藤枝:参加者、各回11名

- ⑥前座イベント(会場:IAIスタジアム)
参加者全員で試合
3月20日、6年生、69名/4月29日、5年生、70名/5月15日、4年生、69名
6月12日、6年生、49名/6月19日、2年生、51名/7月10日、2年生、55名
8月14日、3年生、76名/9月11日、1年生、63名/10月23日、1年生、58名
11月9日、園児、146名/11月12日、女子のみ、21名、

しもあおベース

年度が変わって小6は中1、中3は高1にもみんな遊びにきています。
ずっと「しもあおベース」の仲間です。

裾野西サッカースポーツ少年団

・引退なし
毎週土曜日、裾野市立西小学校で19:00~21:00まで、参加人数20名程度でゆるサカを計画通り毎週開催しました。同じ場所で、中学生のスクールも行いました。

・補欠ゼロ
少年団主催のプレイヤーズファースト交流戦を三学年で各一回づつ開催しました。また、地域で同様のプレイヤーズファーストに賛同するチームも増えてきており、他のチームとの交流も多くなりました。

特定非営利活動法人スポーツコミュニティ磐田・ポータルスター

引退なし
社会人チームとジュニアチーム交流
実施日=2017年3月12日
場所=磐田スポーツ交流の里ゆりめり
内容=小学生の社会人チーム応援、また隣の会場でジュニアの交流試合を開催。
参加人数=選手20名、応援20名
今後はジュニア練習などに社会人選手と一緒にプレーするような交流会を準備したい。また水曜日はジュニアユーススクールの後に社会人練習を兼ねたフットサル活動も開催している。

補欠ゼロ
ジュニアチームのリーグ戦で全員出場。
リーグ戦中断期の1~3月にはトレーニングマッチで全員出場。
今後はさらに選手出場時間の把握も行い、目に見える形で継続していく。

障がい者サッカー
ジュニアチームでの障がい者サッカー体験は日程が調整が出来ず、29年度は開催できなかった。次年度はぜひとも開催したい。
水曜日に社会人チーム練習を兼ねた個人参加型フットサル「みんなのフットサル広場」ではブラジル人なども気軽に参加してくれている。現在外国人登録参加者は6人、毎回全員ではないが参加してくれている。
不定期で月1回行っている35歳以上限定個人参加型フットサル「ゆるサル」では昨年度は女性の参加者が無かったため、女性の参加者が来やすい環境も考慮したい。

愛知県

碧フットボールクラブ

- 引退なし
クラブの活動に参加する方がサッカーを生産スポーツとして楽しめる環境を提供します。
普段の活動でカテゴリを越え子供から大人までが同じピッチでボールに触れる環境を提供しています。
- 補欠ゼロ
クラブの活動に参加する選手全員が試合に出場できる環境(補欠ゼロの環境)を提供します。

各団体2016年度活動報告

カテゴリ毎に定員を設け少人数制で活動することにより、全員が試合に出る事の出来る環境を提供しています。

●障がい者サッカー

差別なく(参加される方の状況に配慮し)全ての方がサッカーを楽しめる環境を提供します。

実施に聴覚障がい者の選手がクラブの選手としてデフ日本代表を目指して活動しています。

一般社団法人AVANCO

【引退なし】スクール活動を中心にクラブ会員のみではなく、地域の子ども達にサッカーやスポーツを楽しむでもう取り組みを行いました。海外の有名な指導者を招き、無料でのサッカークリニックの実施(8月6日)や、地域の警察署と組んで夜間交通事故防止運動「DEFEND 0」(11月11日)を行いました。また、毎月2回地域の3、4歳向けに無料で運動遊び教室を行いました。こうした色々な角度から地域の子ども達を中心にずっとサッカーに携わりたい気持ち育てる活動を行いました。

【補欠ゼロ】リーグ戦においてもフレンドリーマッチを組むなど、選手全員が試合が出来るように取り組みました。

【障がい者サッカー】スタッフやクラブ生も障害を持つ人であってもやる気がありサポートしながら一緒にサッカーを楽しむ活動を行ってきました。

VALLONFEEZ FOOTBALL CLUB

チーム創設に当たり、賛同パートナーの理念に基づき活動しかつたのですが、メンバー募集が思うように進まず、入っては抜けてを繰り返し、なでしこ広場の企画もさせていたいただきましたが、グラウンドの許可がもらえず、思うように計画が進みませんでした。そのなかでも、近所の子供たちが集まってくれ、遊び程度ですがサッカーができたことはよかったです。しかし活動といえるにはほど遠いです。

3月28日に愛知県岡崎市の総合公園で、3月30日に愛知県春日井市の朝宮公園で、U18チーム様が2日間で、100人近い人数が集まり、練習試合を組んでいただきました。ご参加チーム様、関係者様のご尽力のもと、とても充実した2日間でした。観戦者もお持ち、女子サッカーに興味を持っていただきました。

4月8日愛知県名古屋市長宮公園では、初参加の社会人3人が集まり体験会を行います。以降、毎週土曜日には、名古屋市中区にて、10:00-12:00に練習を行い、同時にサッカー体験会を行います。

2017年8月-12月には、サッカー交流会(試合など)、2018年3月には、フットサルの交流会(試合など)を行います。

今後は、チームメンバーを固定させること、チーム活動ができないときには、大会開催などのイベントで、賛同パートナーとしての、活動をしていきたいと思っています。

Club Atletico AIGHI

全選手へ平等にプレイ機会を提供するため、複数試合を行う。クラブ選手80名在籍しているが、補欠を作らず、どの試合どの大会でも公式戦等にかかわらず、必ず試合に出場している。他の選手との比較ではなく、その選手がどれだけ成長しているかを指導者が観るようになる。

NPO法人GranArbolスポーツクラブ

実施日:7月以降の土日での活動日

場所:日進スポーツセンターなど

内容:練習試合や無料体験会、親子フットサル教室

参加人数:10~40名

しあわせの食卓プロジェクト

シニアサッカーの助っ人。ジュニアサッカーでセレクションに落ち、行き場のない子や、訳あってサッカーをやりたいくてもやらない子達へボランティアで講師、サッカースールの立上げも今後します。

positivo FC

5月20日土曜日午後から発育障害の子を対象にサッカー教室を行いました。

初めてボールを触る子たちばかりでしたがみんな積極的にボールを蹴っていました。外で遊ぶ、みんなでボールを蹴る、集団行動などなれないことばかりで大変だったと思いますが子供たちはチャレンジしていました。今後も継続していきたいです。

ワイヴァンフットボールクラブ

「引退なし」

・個人参加型のサッカー・フットサルイベントの定期開催

「実施日」毎週月火金土日(フットサル)毎週木(サッカー)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」個人参加者を募り、みんなでサッカー、フットサルを楽しむ

「参加者」J8~50名

・サッカー大会・フットサル大会の定期開催

「実施日」J月4回程度

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」チーム参加者、個人参加者を募りサッカー、フットサルを楽しむ、順位も決定

「参加者」J3チーム(15名)~11チーム(80名)

・女性のためのフットサルスールの開催

「実施日」J月1回

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」女性のみでフットサルのトレーニング、試合

「参加者」J12名~24名

「補欠ゼロ」

・ジュニアサッカーチームによるサッカー大会の定期開催

塚本自動車カップ

「実施日」2016年05月22日(日)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」J8歳以下の小学生のサッカー大会

「参加者」J11チーム(約176名)

wyvern U10 CUP

「実施日」2016年07月16日(土)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場



「内容」10歳以下の小学生のサッカー大会
「参加者」J7チーム(約112名)

wyvern festa U9

「実施日」2016年07月18日(月)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」J9歳以下の小学生のサッカー大会

「参加者」J6チーム(約96名)

wyvern festa U9

「実施日」2016年08月21日(日)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」J9歳以下の小学生のサッカー大会

「参加者」J9チーム(約144名)

wyvern summer cup U11 2016

「実施日」2016年08月27日(土)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」11歳以下の小学生のサッカー大会

「参加者」J6チーム(約96名)

wyvern festa U8

「実施日」2016年09月19日(月)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」J8歳以下の小学生のサッカー大会

「参加者」J8チーム(約128名)

wyvern festa U10

「実施日」2016年10月23日(日)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」10歳以下の小学生のサッカー大会

「参加者」J9チーム(約144名)

wyvern Xmas cup U11 2016

「実施日」2016年12月23日(金)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場、みどり浜グラウンド

「内容」11歳以下の小学生のサッカー大会

「参加者」J8チーム(約288名)

wyvern cup U9

「実施日」2017年01月29日(日)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」J9歳以下の小学生のサッカー大会

「参加者」J8チーム(約128名)

wyvern cup U10

「実施日」2017年02月11日(土)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」10歳以下の小学生のサッカー大会

「参加者」J6チーム(約96名)

wyvern charity cup U9

「実施日」2017年03月19日(日)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」J9歳以下の小学生のサッカー大会

「参加者」J9チーム(約144名)

wyvern x スーパースポーツゼビオ cup

「実施日」2017年04月08日(土)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」J9歳以下の小学生のサッカー大会

「参加者」J8チーム(約128名)

「障がい者サッカー」

・障がい者が安全に楽しくサッカーができる環境整備と環境提供をします。
・障がい者が気軽に参加できるように企画を開催します。

個人参加型フットサル

「実施日」毎週月火金土日(フットサル)毎週木(サッカー)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」個人参加者を募り、みんなでサッカー、フットサルを楽しむ

聴覚障がい者の方も参加。みんなと一緒にフットサルを楽しみました

「参加者」J8~50名

wyvern charity cup U9

「実施日」2017年03月19日(日)

「場所」UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

「内容」J9歳以下の小学生のサッカー大会にて児童養護施設への募金活動を実施。

「参加者」J9チーム(約144名)

一般社団法人One Life

毎週15人程度の障害児とトレーニング、ミニゲームを行う。

三重県

七里御浜FC

(引退なし)について

当団体は主に4種の活動ではありますが、卒団後、中学生になり他クラブ活動と並行してでもボールが蹴られる活動を継続しています。2016年度は10名参加、2017年度4月時点で3名が申し込み頂いています。また、当クラブ主催のサッカー大会において2016年度は2回親子サッカーを開催し、多くの大人にも参加頂きました。

JFAなでしこひろばについても2016年度は8回開催しました。2017年度は月1回のペースを目指して計画をします。

(補欠ゼロ)について

当クラブでは、試合を積極的にやりたい選手向けのクラブチーム、2ヶ月に一度当スクール対抗のリーグ戦を行うスポーツ少年団を3チーム作って活動しております。それにより試合に出られない選手が出ない仕組みを作りサッカーに取り組み姿勢に個人差があっても選手に合った環境の提供が出来ています。

(障がい者サッカー)について

2016年度では具体的な活動が出来ておりません。当クラブの指導者会議では具体的な案を検討している段階です。
案として、(障がい者サッカー)掲げるチームを地域の施設、団体にJFAがあっせん、紹介するということも関わりへの後押しとなると思います。

岐阜県

IGSユニバーサルスポーツクラブ

実施日:2017年6月(予定)

場所:かんぼの館 岐阜羽鳥

内容:第7回赤い羽根チャリティフットサル大会

参加者数:未定

各団体2016年度活動報告

糸貫サッカー少年団

全学年・全試合において、選手全員起用を原則として、1年間活動。
公式戦以外にも多くのフンドリーマッチなどを実施し、プレーの機会を確保することを第一に活動しました。

FCプログレッシブ

OPサッカーを中心としたメンバーが多いですが、障がいの種類、健常者、年齢、性別に関係なく、サッカーを楽しむことの出来るよう練習(月2回程度)やフットサルイベント等への参加しています。また不定期ではありますがクラブ主催のクリニック、イベント開催も行っています。

滋賀県

NPO法人BIWAKO SPORTS CLUB

【ずっとENJOY】

①世代を超えてサッカーを楽しめる機会の創出
・「Enjoy Football Day!!」
10月29日 大津市立木戸小学校にて第1回Enjoy Football Day!!を開催致しました。内容は地域の皆さんやクラブに関わる皆さんがサッカーを通して交流を深め、年齢・性別関係なくサッカーを楽しみましょう!というものです。集まったメンバーでルールやチームを決めてサッカーの試合を「楽しむ!」ことを目的に開催しました。
参加者は14名(子ども11名・大人3名)でした。

2017年4月29日に第2回Enjoy Football Day!!を開催でき、25名(子ども20名・大人5名)の参加者が集まってくれました。

毎月1回実施を考慮しており、もっと幅広い参加者が集まり、地域の方々を世代を超えてサッカーを自由に楽しめる時間を作りたいです。

・クラブ初練習
2017年1月3日 びわこ成蹊スポーツ大学人工芝
キッズ、ジュニア、社会人、シニアのメンバー70名が集まり、みんなで試合を楽しみました。1つのことに夢中になってピッチを走り回ることができました。

②フットサルリーグの開催

・BSCフットサルリーグ(ベストブレインカップ)の開催
7月30日、9月24日、10月22日、11月26日、12月10日の計5回
びわこ成蹊スポーツ大学マルチアリーナ、人工芝
参加者50名
地域に関わる5チームでフットサルリーグを開催しました。
(BSCジュニアスタッフチーム、BSCシニアチーム、中学教員チーム、大学教員チーム、隣地域のシニアチーム)
参加ルールとして、女性の方がピッチに1名以上いることが必須というルールを設け、女性の方も参加できるようにした。
フットサルを通して、地域に住んでいる方、地域で働かれている方、地域に関わる方々の交流を囲める良い機会になりました。
シニア世代になると、競い合う機会が減ってしまうので、今回のリーグ戦では真剣勝負をすることもでき良かったです。

③フットサルチームの受け入れ

新たにCoracaoというフットサルチームをクラブに受け入れ致しました。
2016年7月
当クラブ卒業生のCoracaoへの練習受け入れや将来的には所属チームとしての受け皿になり、お互いに向上を図ることを目的とする。
高校サッカー部に所属しながらCoracaoへの練習参加をしている選手。
ジュニアユース選手が引退後に練習参加をして高校サッカーまでの期間を過ごした選手がいます。

【みんなPlay】

④人数が多い学年は2チームで出場するなどの工夫をする
・現在(2017年5月)ジュニアチーム(BSC志賀Jr)の6年生は26名在籍しております。
Aチーム、Bチームの2チームに分かれて公式戦に出場しており、なるべくみんなが試合に出場できるように考え活動に取り組んでいます。

⑤たくさんの選手が試合経験を積めるように配慮する。また試合数の確保に努める

・ジュニアユースチーム(BSC JY)は各学年20名ずつ在籍しております。練習試合では全員がほぼ同じ時間に出場できるように努めています。
また公式戦では大会ごとに位置づけをして公式戦になかなか出場できない3年生の選手にも出場してもらえよう心掛けています。

ROSE RITTO

チーム名変更 ROSA SHIGAから ROSE RITTOに、変更です!

活動日

・毎週木曜日 pm19時～pm21時
(高学年&中学生&大人 参加OK)
場所 栗東中学校体育館
・毎週日曜日 pm17時～pm19時
場所 滋賀県栗東市御園レッセ厚生会館
pm19時～pm21時
春～秋期間(高学年&中学生&大人 参加OK)
場所 治田東小学校グラウンド

大阪府

アイリスFC住吉

ジュニアでは、協会主催大会で2～3チーム出場(ライフカップ3チーム、リーグ戦2チーム、小学生大会2チーム)、地域連盟(大阪市サッカー連盟)の大会には2nd、3rdチームが出場、遠征・カップ戦も2チーム登録し、全員が大会に出場できるようにしました。
ジュニアユースでも各カテゴリで2チームが出場しています。
地域連盟の大会・リーグ戦は2ndチームで出場しています。
全員が公式戦に出場できるように、配慮しています。

NPO法人吹田南フットボールクラブ

ずっとエンジョイ・OBの練習参加受け入れ・中学3年生の公式戦終了選手の



活動継続

みんなブレイ・全ての学年で試合に均等時間の全員出場をスタッフを含め実践
誰でもジョイン・アスペルガ症候群の選手も在籍・年間の活動でできる事・我慢できるよくなった事が増えた・障がいのある方から指導者参加の問い合わせもあつた。その先に話が進まなかった。(相手方との連絡がとれなくなった為)

HalfTime

「障がい者サッカー」「引退なし」のカテゴリで登録させて頂いております。

私たちはインクルーシブフットボールクラブ(誰でも)を理念に掲げ、ソーシャルフットボール(精神障がい者フットボール)を柱としています。
インクルーシブフットボールとして運営する回は、障がい・疾病・経歴・性別・国籍を問わず誰でも参加できます。また、登録も不要で久々の方もいつでも参加できる形式です。このことから「障がい者サッカー」「引退なし」での登録をさせて頂いております。活動の特性上、2つを別々に報告する事が難しいので、併せて報告となります。

【活動内容】

大きく分け5つの活動を行っており、項目ごとに報告させて頂きます。

①インクルーシブフットボール(定例会)

日程:毎月1回実施、4/12、5/16、6/16、7/4、8/23、9/5、10/4、11/21、12/20、1/16、2/6、3/7。
会場:サンスクエア堺・大浜体育館の2会場を使用。
内容:準備体操(アイスブレイキング込)→練習→フットサルミニゲーム。
参加:年間参加者数は255名。

②インクルーシブフットボールフェスタ(主催大会)

日程:9/24
会場:大阪府立臨海スポーツセンター。
内容:フットサル大会(ミニイベントも実施)
参加:15チーム、194名(運営ボランティア、応援観戦含む)。
特徴:ソーシャルフットボール、OPサッカー、ブレインドサッカー(運営協力)の3カテゴリが参加。また、学生・一般フットサルクラブ・養護学校も参加し、文字通り誰でも参加できた大会となった。

③競技性ソーシャルフットボールチーム

日程:4/10、5/24、6/18、6/28、7/25、8/8、9/12、10/18、11/12、12/5、1/25、1/30、2/8、2/24、3/4、3/13。
会場:長居障害者スポーツセンター、高石市総合体育館など。
内容:フットサル練習およびソーシャルフットボール大会出場。
参加:累計、約200名。

④ソーシャルフットボール講習会

日程:6/18(泉北)、9/16(南河内)、9/17(中河内)、12/3(大阪市)、12/9(中河内)、1/27(泉南)、3/4(泉北)、3/9(泉南)、3/21(南河内)
会場:岸和田サンアビリティ、大阪府臨海スポーツセンター、河内長野総合体育館、久宝寺ノアフットサルステージ、キャプテン翼スタジアム天王寺など。
内容:初心者向けのソーシャルフットボール講習会。
参加:累計約300名

⑤広域活動

ウメキタフェスにて障がい者サッカーブース出展、専門学校で講義を1回、一般社団法人大阪ソーシャルフットボール協会へ役員派遣等実施。

北摂ユニテッド

補欠ゼロのカテゴリにおいて、少数精鋭のトップチームに次ぐセカンドチームがあり、総勢40名を超えるチームとなっている。引退なしのカテゴリにおいては、40歳以上のシニアチームが活動しており、最高齢で53歳の選手が在籍。人数は30名弱。障がい者との共同スポーツにおいては、シニアチーム内に難聴の選手が在籍しているが、皆で協議し合いながらサッカーに取り組んでいる。
全て実施日においては、基本的に毎週のことなので割愛、場所は北摂地域のグラウンド(毎週変動)

NPO法人 八尾大正フットボールクラブ

みんなPlay

2016年11月12日、八尾市福万寺町市民運動広場、八尾スタディール参加、参加人数15名、地域のチームが集い年間を通じて勝敗を記さないリーグ戦を行いました。
ずっとEnjoy
2017年1月3日、八尾市立大正北小学校、八尾大正FC初蹴り、参加人数250名、八尾大正FCの選手から保護者やOBOGが集い一緒にボールを蹴りました。

兵庫県

あかしユニバーサルフットボール連盟

※引退なし 各イベント何度でも申し込んでいただけ(年齢制限のある場合あり)参加することができます。
※補欠ゼロ 各イベントで、申し込んでいただければ、基本全員参加として参加できます。
※障がい者サッカー ごちゃまぜの理念のもと、障がいがある人もない人も(障がい者優先の場合あり)参加出来ます。
3つの賛同を組み入れ以下のイベントを実施いたしました。詳細は別紙(別メール)にて。
★2016年5月22日(日)13:00～16:00、明石大蔵海岸多目的広場、2016AUF連盟第1回キッズフェスティバル、参加人数24名
★2016年6月19日(日)13:00～16:00、明石大蔵海岸多目的広場、AUF連盟「元/リガー」によるサッカー教室、参加人数39名
★2016年9月11日(日)13:00～17:00、明石大蔵海岸多目的広場、AUF連盟第3回設立記念大会、参加人数121名
★2016年11月13日(日)14:00～16:00、明石大蔵海岸多目的広場、2016AUF連盟第2回キッズフェスティバル、参加人数15名
★2016年12月11日(日)13:00～16:00、明石大蔵海岸多目的広場、ユニバーサルフットボール交流大会、参加人数約100名
★2017年2月19日(日)13:00～17:00、兵庫県立障がい者スポーツ交流館、AUF連盟冬季大会、78名の、6イベントです。

各団体2016年度活動報告

ウエルネス

<引退なし(ずっとenjoy！)>

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度の「ずっとenjoy！」賛同パートナーであるウエルネスサッカークラブは、2017年1月4日(水)大阪府吹田市にて、当サッカークラブの卒業生、在籍選手、保護者などが一同に集い、新春サッカー交流会をおこないました。卒業生と在籍選手、卒業生と保護者、保護者と在籍選手、当チーム出身のOBコーチとの交流をおこないました。卒業生がチームのスタッフとなり、交流を深めていく良い機会となりました。卒業生が在籍選手へかかわる時間もたくさんあり、笑顔が溢れ、サッカーをみんなで楽しむ時間となりました。

<補欠ゼロ(みんなPlay！)>

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度の「みんなPlay！」賛同パートナーであるウエルネスサッカークラブは、3月19日(日)大阪府箕面市内にて、ウエルネスサッカークラブ交流戦をおこないました。子どもたちの様子、状況に合わせて出場選手数を変更したり、コート面の敷設調整するなどして、全員が積極的に参加できる環境を作り、試合を実施しました。環境を提供することで、子どもたちも試合の中の自分の役割を見つけて、必死にボールを追いかける姿や、ゴールを守ろうとするなどの考えでプレーする姿が見られました。

<障がい者サッカー(だれでもJoin！)>

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度の「だれでもJoin！」賛同パートナーであるウエルネスサッカークラブは、日々の活動の中で個別のかかわりを大切にしています。今後のチーム活動でも参加してもらい、子どもたち1人ひとりが楽しめるかかわりをおこなっていきます。

一般社団法人 オープンゲートスポーツクラブ

2016.03.31 西宮中央運動公園

内容:当該クラブ活動場所である西宮市の児童を対象とした、体験サッカー教室の実施
参加者:13名

2016.07.28 西宮中央運動公園

内容:当該クラブ活動場所である西宮市の児童を対象とした、体験サッカー教室の実施
参加者:9名

2016.10.30 西宮中央運動公園

内容:同志社大学体育会サッカー部女子部との合同企画。女の子にもサッカーを始めたいという願いと、現在サッカーをしている女の子に対して将来進学してもサッカーを続けて欲しいという思いを実施しました。
参加者:60名

特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ

●グリーンアリーナ神戸カップU-18フットサルフェスティバル

2016年8月24日(水)、25日(木)

高校フットサル部、サッカー部、フットサルクラブ、サッカークラブなど全国から多様なチームが参加。サッカー部で試合に出場できない選手などに試合機会を提供することができました。

●グリーンアリーナ神戸カップフットサルフェスティバル

予選:2016年9月25日、10月1日、8日、10日

決勝:2016年12月23日

オーバー35、45、U-18女子、U-12の4カテゴリーで開催。まだ大会が少ないシニア層およびU-18女子のフットサルの試合機会を創出することができました。

●王子杯・GA杯 グラウンド・ゴルフ大会

毎月開催

毎月200名程度の参加があり、高齢者が継続的にスポーツを楽しむ環境を提供することができました。

一般社団法人 スポーツアカデミー ロヴェスト神戸

◆「引退なし」につきましては、2016年度スクール生及びジュニアユース生の卒会を行いました。

●スクール生の卒会

日時:2017/4/1(土) 18時～21時

会場:ロヴェストグラウンド

参加者:22名

「ずっとゲーム」と題して、ジュニアのスクールを卒業するメンバーでずっとミニゲームを楽しみ、その間、クラブハウスでお菓子とジュースで談話。ロヴェスト恒例の焼き芋大会をして、「毎年1度は遊びに来てください」と記載した卒業証を手渡しました。

●ジュニアユース生の卒会

日時:2017/4/2(日) 10:00～16:00

会場:ロヴェストグラウンド

参加者:9名

ロヴェストのジュニアユース生の卒会と高校に入学する報告会を一緒にに行いました。

昨年夏から高校の受験勉強を始めてから会うのも久しぶりなメンバーも居り、真っ黒だった顔が青白くなっていたのが驚きました。全員、合格先の高校でサッカーを続けるということで大変嬉しいしました。当日は新中1年生が練習していた事で、一緒に楽しくトレーニングとミニゲームをしました。高校に行くメンバーにも「毎年1度は遊びに来てください」と記載した卒業証を手渡しました。

◆補欠ゼロ

認定以前から当団体は試合に全員出場するスタイルを取っており、現在も継続しています。

通常は試合の出場リストを作成し、それをチェックしながら交替を行っています。

リストを忘れたりした時は、ジャンケンで決めたりして、不公平の無いように計算して出場したりしています。

チャレンジドサッカーサークル神戸

障がいを持つメンバーがサッカーを通じてスポーツをする楽しさを感じたり保護者の情報交換等を進めるサークルです。

【毎月練習】

H28年度

4月17日 神戸市立有野小学校 1部練習メンバー24名 2部練習メンバー6名

5月15日 神戸市立有野小学校 1部練習メンバー19名 2部練習メンバー3名

6月12日 神戸市立有野小学校 1部練習メンバー17名 2部練習メンバー4名



7月17日 神戸市立有野小学校 1部練習メンバー17名 2部練習メンバー6名
8月21日 神戸市立有野小学校 1部練習メンバー17名
9月18日 神戸市立有野小学校 1部練習メンバー16名 2部練習メンバー6名
12月11日 神戸市立有野小学校 1部練習メンバー21名
1月15日 積雪のため練習中止
3月19日 神戸市立有野小学校 1部練習メンバー12名

【農業体験】

10月16日 コーチの自宅の畑にて、芋ほり体験をしました。

メンバー14名、ご家族20名が参加して、芋ほりをし、保護者手作りのさつまいもと一緒に食べ、親睦を固めました。

【サッカー大会への参加】

9月4日 神戸市立しあわせの村にて開催の、「フェスティック神戸大会記念サッカー大会」に参加しました。(試合には参加せず、ピッチを使って練習をしました。)メンバー11名が参加しました。

11月20日 神戸市立しあわせの村にて開催の、「兵庫県特別支援学校サッカー連盟 ハンディキャップサッカーひょうご大会」に参加し、参加カテゴリーで準備講しました。

【親睦会の開催】

12月11日 1部練習の後に毎年恒例の「クリスマス会」をしました。メンバーとそのご家族、コーチ、ボランティアの皆さんと共に、お茶とケーキをいただき、プレゼント交換をして、楽しい時間をもちました。また同時に、家族間での多岐にわたる情報共有も図り、相互支援にも努めました。

2月19日 第2回親子サッカー大会を開催しました。

全体を3グループに分け、大コートを使って試合をするグループを1つ(ある程度早く動くことが出来る、ある程度ルールが理解出来る)、小コートを使って試合をするグループ(動きがゆっくり、身体が小さい、ルールがあまり理解出来ない)を2つ作り、それぞれに保護者も参加して、順番に試合をしていきました。

メンバーも保護者も、一緒に身体を動かすことで気持ちが高れやかになり、笑い声が溢れる親睦サッカー大会になりました。

HYOGO CHANCEN SV

※引退なし 今年度も新しいチームに移籍するもの、残ってフットサルを中心にやるものに分かれたが、自分の意志に基づいてサッカーの進路を決め引退なしにサッカーを続けられている。

※補欠ゼロ 今年度も第3回HYOGOなでこカップ・2016ビーチサッカー(明石・浜坂)・第11回西播磨ガールズ招待サッカー大会・第34回兵庫県小学生女子サッカー大会・第22回鳴門少女サッカー大会・第19回デウソン神戸カップ兵庫県女子フットサル大会において全員出場で大会に臨み全員出場することができいい経験をみんなで積むことができました。

※障がい者サッカー 月2～3回土曜日15:00～17:00谷八木小コミセン体育館にて、放課後等デイサービス(障がい児童デイサービス)約10人とC HANCEN約8人と合同になって練習やミニゲーム、練習試合をごちゃまぜになって行うことができました。

島根県

松江FCだんだん

引退なし一年間を通じ年代別のリーグ戦及び毎週水曜日に年代別の練習会を開催した。

誰とでも毎月だいたい2、4の水曜日の練習会に半面U-12の築トレンに半面を提供し同じ場所で練習する親子が共通の協同意識をもってサッカーを楽しんでいる。

障がい者との共有一今年も県スポレク祭時に島根県の障がい者サッカーチームと交流戦を行った。

岡山県

玉野Divell

岡山県O-30レディースサッカーリーグ戦(8人制)

7月16日(土)岡山県総合グラウンド 補助競技場 12名参加

9月4日(日)玉野市民総合運動公園サッカー場 9名参加

11月20日(日)美作ラヴィー・サッカー場第2人工芝 14名参加

30歳以上のレディース・ママさんのリーグ戦を3節にわたり実施しました。

参加したメンバーが必ず試合に出るという目標を達成しました。

子供のサッカーや、家庭のことがありながら、時間の合間をみつけ、サッカーが大好きな仲間と、楽しむことができました。

今後も、新しい仲間づくりをしていきたいと思います。

広島県

A-pple広島

ずっとEnjoy

実施日:9/22

場所:広島修道大学

内容:「第1回西日本アダプテッドサッカーフェスティバル」アンプティサッカーとブランドサッカーの九州・関西チームを招待して西日本初の多種目合同障がい者サッカー大会を開催。参加者に年齢制限を設けず、誰でも参加可能な大会として実施しました。
参加人数:障がい者50名、ボランティア・観客100名

誰でもEnjoy

実施日:7/24

場所:広島市西区スポーツセンター

内容:「広島県理学療法士協会主催～アンプティサッカー体験会～」広島県理学療法士協会に所属する理学療法士やその養成校の生徒さん達にアンプティサッカーを体験してもらいました。初めて体験するサッカーに戸惑う皆さんと積極的に関わりを持って声をかける選手達、とても良い交流ができました。

参加人数:30名

各団体2016年度活動報告

実施日：9/22

場所：広島修道大学

内容：「第1回西日本アマテブツサッカーフェスティバル」アンチサッカーとブラインドサッカーの九州・関西チームを招待して西日本初の多種目合同障がい者サッカー大会を開催。健常者も参加できるルールを設け、みんなと一緒に障がい者サッカーを楽しみました。参加人数：障がい者50名、ボランティア・観客100名

実施日：10/27,11/11,12/18,1/16,1/17,2/13

場所：広島県内小学校、中学校、大学

内容：「アンチサッカー講演会&体験会」特別授業として、障がい者とは？アンチサッカーとは？ブラインドサッカーとは？障がい者を取り巻く環境やスポーツの役割、それぞれの選手のプロフィールなどを講演会として話をさせていただき、一緒に考える時間を作っていました。また、そのあと生徒の皆さんと一緒にボールを蹴ることでスポーツの普及、サッカーの持つ不思議な一体感やリスペクトの精神、諦めないことの大切さを共有しました。参加人数：各50名程度

香川県

キッズフィールド

2016年8月 親子サッカーを130名の参加で行いました。各リーグ戦や試合は、1年生から6年生まで2チーム参加で、全員に試合経験をさせております。2017年3月 東部運動公園 U6フェスティバル 未経験者男女16名をチーム内の活動に参加していただきました。

福岡県

エスパーロ直方

補欠ゼロ・宗像サッカー協会主催 キッズフェスタなどに参加。全スクール生が平等に楽しく試合に出場。上手い下手に関係なく、一人一人が輝ける場所を提供出来ている。

引退しなまだ出来たばかりのスクールであり、卒業生が出ていません。将来スクール生が卒業後も、スクールを利用して学校における悩みなどを共有し励まし合える環境作りを作ります。

障害者サッカー 現在2名の子供達が一緒にサッカーを楽しんでいます。

特定非営利活動法人 春日イグルス

■ずっとEnjoy！/みんなPLAY！年齢を問わず、子供から中高年生、お年寄りまで活動できた。サッカー部門では、サッカースクール(週1回:小学1～3年生)、サッカークラブ(週3回:小学4～6年生)、U-15(週4回:中学生1～3年生)、U-18(週5回:高校生)、トップ(一般:県リーグ2部)、いずみ(20歳～40歳までの男子)、エドル(35歳以上)、シニア(40歳以上)、ガールズ(小学生女子)、レディース(中学生以上女子)全カテゴリーとも、2016年度オープンした春日市総合スポーツセンターや市

内の小中学校グラウンドにて通常活動を実施した。小学生は、各学年100名程が在籍し、プライベートの大会をはじめ各カテゴリーの年代別やレベルに応じて各自が必ず年3回ほど、天然芝グラウンドの春日市白水大池公園多目的広場にて補欠なしのフェスティバルを実施し参加することができた。公式戦(全日本少年福岡県大会)においては、クラブ初のU-12大会において福岡県3位入賞。公式戦に出場する機会のない選手たちも、ソニリサーグ(U-12年代)、クライスリーグ(U-11年代)、アミーゴクラブ(U-10年代)と全てのカテゴリーにおいて、緊張感のある試合を必ず体験できる環境をつくることができた。(特別ルールも設定しながら)会場:白水大池公園多目的広場(天然芝G)

各80～100名参加することができた。大会によっては、近隣チームも招待。年長・小学1～3年生においては、天然芝グラウンドの上、年3回キッズフェスティバル(1回/約200名参加×3回)を開催することができ、また、小学3年生においては、自然と触れ合いながら、すこやかな成長を願い、今回、震災の影響もありましたが、熊本地域復興のためにも、安全確認を繰り返しながら、夏に阿蘇郡小国町でサッカー合宿を実施することができた。80名参加。■中学生年代においては、同施設や県営春日公園球場(スタンド有)の施設をお借りして、春日市内及び近郊のクラブや中体連チームとの筑紫地区交流フェスティバルを12月に開催し、県外からも福山FC(広島県)、今治FC(愛媛県)、ポリアルテ美都(島根県)も主旨に賛同いただき参加いただいた。公式戦においては、福岡県U-15リーグにセカンドチームも参加したり、BOEリーグという補欠なしのプライベートリーグを近隣のクラブと共同で開催し大変盛り上がりを見ることができた。(補欠なしリーグの開催)参加(登録)数:79名■高校年代においては、福岡県U-18リーグ(2部)でホームゲームを主に県営春日公園球場で開催することができた。また、U-18年代はセカンドチームも県リーグに出場した。参加(登録)数:35名■社会人チームは、福岡県2部リーグにて優勝し、来季は、福岡県1部リーグへの昇格が決定した。■シニア年代では、プライベートリーグのMシニアリーグ(35歳以上参加25名)と福岡県シニアリーグ・各種公式戦(40歳以上)に(会場:福岡フットボールセンターにて、登録26名)参加。通常活動は、月4～5回毎週日曜日に県営春日公園球場(人工芝G)や春日市総合スポーツセンターにて活動することができた。転動でもサッカー活動を希望者が数人入会された。

ミドル&シニア登録50名■女子部門も、県のU-12の女子ジュニアリーグに参加した。レディースチームは主に中高生を中心に活動し、ハバタ&ママス(22名)やシニアチームとの交流を実施し、また、新設された春日市総合スポーツセンターのフットサルコートで多年代交流を実施し、保護者も参加され充実した活動が行われた。ガールズ、レディース登録:36名■だれでもJoin!

ブラインドサッカー体験会を平成28年11月23日(水曜日) 9:30～11:00 春日市総合スポーツセンターフットサルコートにて主催:NPO法人 春日イグルス 共催:福岡県 人づくり・県民生活部 スポーツ振興課 福岡県障害者スポーツ協会 後援:春日市教育委員会 協力:ラッキーストライカーズ福岡、アビス福岡株式会社 アビス福岡スクール推進部コーチの高良氏と藤井氏(ラッキーストライカーズ福岡監督・コーチ)のサポートで、春日イグルスU-14、U-13メンバーとコーチ達も一緒にラッキーストライカーズ福岡のメンバーの方と交流しながら、ブラインドサッカーの体験を通じて、いかにチームメイトとのコミュニケーションを取るかをテーマにしながら、障害者との交流を通じて「チーム



ワーク)の大切さや障害者への「日常の思いやり」について等、大切なことを学ぶ良い機会となりました。

■ずっとEnjoy！の一環として、指導者育成事業も実施。NPO法人 春日イグルス・スポーツ指導者研修会 平成28年度 福岡県総合型地域スポーツクラブ活動推進助成事業 1主旨 スポーツを通じて青少年の健全育成を図る環境作りのため、指導者の体罰(暴力発言)によらない指導者育成を目指して、自分で考える子どもの育成を実現するために、指導者の対話力の向上について学び、指導者の育成に役立てる。

2主催 総合型地域スポーツクラブ NPO法人 春日イグルス
3後援 春日市
4日時 平成29年3月10日(金) 受付18:40 開会行事19:00～
5会場 春日市総合スポーツセンター 会議室1・2
6対象 地域や団体における青少年競技スポーツの指導者、春日市スポーツ担当者
7参加 35名
8日程 18:40受付 19:00開会 19:15講演 20:50終了
9講演内容及び講師
講演:「叱らず、問いかける」～子どもをぐんぐん伸ばす対話カ～
講師: 元京都サンガF.C.ホームタウンアカデミーダイレクター 現NPO法人I.K.O市原アカデミー理事長 池上 正氏

■みんなPLAY！の一環として アフリカのケニアに、春日イグルスの想い出の詰まったユニフォームを贈ることによって、世界レベルでサッカーを通じて、みんながHappy!という願いを込めて！ 春日イグルスU-15～U-18OBの伊藤雅清さん(大野城市在住)の取り組みから、NGOのご協力を得て、今回、アフリカの子どもたちに援助することができました。 Youtubeにて(報告) https://youtube.com/Di2MnJ0eok4

■ずっとEnjoy！/みんなPlay！の一環として、選手・指導者育成事業も実施。 子ども達の将来のサポート事業として、現在スペイン・ビルバオ在住の岡崎篤矢(乾選手)の通訳担当・スペイン公認最上級ライセンス取得)を招いて、選手向けと指導者向けの講習会を9月に3日間、地元春日市にて実施した。選手としての挫折から、現在、指導者として海外で活躍できる人財となることでできるようになるためには… 参加:プレーヤーU-12～U-18、指導者(クラブ及び地域関係者)80名参加 春日市ふれあい文化センター大ホールにて

つばさアカデミア・サッカースクール

ずっとEnjoy J-futsalの大会やビーチサッカー大会にスクール卒業生と現役スクール生で参加しました。 みんなPlay ずっとEnjoyで出場した大会は、男女問わず全員が出場できるよりにローテーションを組みます。また、キッズサッカーフェスティバルを運営し、全員が同時にプレイし、休んでいる子がいないようなシミュレーションになっています。 だれでもJoin 特別支援学校で障害に応じてバレル分けて、サッカーを楽しませました。ゴールに飾をつけてシュートゲームを行ったり、ボール運びゲームなどを行ったり。

長崎県

よこおスポーツクラブ ゴラッソ横尾

①「U-12女子フットサル大会」開催

開催実施日:2017.2.5
場所:長崎市立横尾小学校体育館
活動内容:以下記載
参加者数 選手23名、指導者11名、保護者多数
参加資格:U-12 女子
参加条件:学年問わず全員平等に出場

当クラブには女子選手が9名在籍しています。昨年度、我々の地域では、昨年度女子(U-12)を対象にしたフットサル大会がありませんでした。育成の観点から、あまり機会がないジュニア世代の女子にも平等に試合や大会など機会を与えたいということでのフットサル大会を企画し開催しました。

大会当日は女子選手たちの、活き活きとした表情や、初めて見たというくらい活発なPlayを目の当たりにしました。 実施したチームの監督・コーチ・保護者からも、「聴することなく伸び伸びと楽しんでいる」、「男子と混合の時は明らかに雰囲気が違う」、「いっしょに真剣などなど、感想が聞かれ、ニーズがあると感じ、また企画しようと思いました。

育成クラブなので、競争や順位は(私たちは)あまり重要視せず、全チームを讃えたいという気持ちでしたので、参加全チームにロフォー、賞状を準備し表彰しました。 監督・コーチによる対戦相手投票でMIP(Most Impressive Player)を全クラブから各1名を選出しました。本当はすべての選手を讃えたいところでしたが、インセンティブを設けることで、良い意味での競争やトレーニングのモチベーション、目指す目標になればと考え準備しました。多くの選手が候補に挙がった。1年生が受賞したりしたことはいずれの結果でしたし、授賞式でもとても盛り上がりがあったのでよかったです。 初めに表彰されたチームもあり、「帰って男子に自慢しよう」と嬉しそうに話している選手たちもいました。

なかなか女子だけでチームが成立しないということで、近隣チームと合同での参加であったり、メンバーが足りないチームには各チームから毎回違う生徒が助っ人に入るなどして、通常ではありえないことですが細かいルールよりも子供たちが第一に楽しむことを優先して運営を行いました。はじめて一緒にプレイする仲間を受け入れたら、得点や勝利を分かち合ったりなど、勝敗よりも大事なことで、うれしいこと、楽しいことは何かを子供たちの姿勢から感じることができました。 参加は全チームと小規模でしたが、我々のクラブ・育成理念に賛同いただいた近隣の指導者のご理解・ご協力が無事に開催することができました。 非常にありがたいことでした。 子供たちのために我々指導者が気が付いていない、フォーカスして活動ができていないことが、まだまだ沢山あるのだらうと思いました。

各団体2016年度活動報告



帯同審判を全チームに依頼しましたが、初めての方もおられ、「公式戦で笛をふく自信がない」と言われましたので、「選手たちと一緒に我々指導者もチャレンジしましょう」と促しました。「とても緊張したけど、やれてよかった、よい経験ができた」といわれ意義があったと思います。

②「心肺蘇生講習会」開催

開催実施日:2017.3.25
場所:長崎市立横尾小学校1F教室
活動内容:以下記載
参加者数 指導者6名、保護者5名、インストラクター(看護師5名)

地域の医療機関(大学病院)、地域の小学校のご理解とご協力のもと、当クラブ主催で、小学校課外クラブ指導者および関係者対象に心肺蘇生講習会を開催しました。(10名定員に対して11名参加)同じ小学校で活動している全課外クラブ対象に、活動中の選手の万一の事態に適切に対応するために企画しました。定期的な講習の受講が必要といわれていますので、年1回実施して今年が2回目となります。地域貢献、子供たちが安全に活動するための環境づくりの一環と考えております。

小児に特化した急変や対処についての講義に加えて、実際に小児のモデルで、AEDテスターを使用しながら実技を行いました。子供たちに、練習で出来ないことは試合でも出来ない指導を行っています。日頃から我々大人がしっかり準備して、子供たちが安心して活動できるよう環境づくりを心掛けています。

熊本県

NPO法人スポーツクラブ・エスペランサ熊本

5月8日 八代運動公園 スポーツフェスティバル(サッカー・ラグビー・陸上)
参加者約80名
10月17日 嘉島 ロービジョンサッカー体験 参加者16名
11月3日 八代運動公園 スポーツフェスティバル(サッカー・ラグビー・アソシエーション) 参加者約80名
2月19日 八代運動公園 スポーツフェスティバル(サッカー・陸上)
参加者約80名
通年 補欠0 少年 全日県大会・県選手権・県新人戦・県学童五輪

ソルサフガール

11月から月に1回のペースで熊本県キッズサッカー協議会が主催する大会に参加。6人制の試合に3チームor4チーム出場し交代がないようにした。年長の試合に年中や年少も出ることで【みんなで楽しむ】ことができた。

大分県

特定非営利活動法人カティオーラ

「引退なし」参加選手18歳以上の選手
実施日:平成28年度 場所:大分県内各グラウンド
内容:
①18歳以上の選手で大分県リーグ3部に参加(年間6試合) 選手31名

②35歳以上の選手で大分市モデルリーグに参加 選手10~21名(年間9試合)
③40歳以上の選手で大分市マスターズリーグ参加 選手26名(年間14試合)
生涯、年代に合ったサッカーができるようカテゴリーを作り、また試合ができるよう各リーグに参加しました。
歳を取っても体を動かせる環境・チームがあることは、サッカー好きな大人には嬉しいようです。

「補欠ゼロ」参加選手小学4年生以上
実施日:平成28年7月23日(土) 場所:大在東グラウンド 内容:大分市内の7チームを集め午前中は各チームで対戦し、午後は各選手をミックスし8チームで人数が合わなくても8~9人制で試合を行い、ベンチにサブメンバーが無いよう全選手出場させる。
全員が試合に出場できたことも良かったが、始めた会った選手と同じチームで試合をし、交流もでき友達もできて楽しかったとのことでした。
参加人数61名(選手)

「障がいサッカー」
実施日:平成29年2月19日(日)
BEEP湯の華カップサッカー交流大会に参加(主催は別)
場所:別府実相寺グラウンド
参加:自チームは中学生以上の女子選手19名 他は9チーム参加しました。
内容:アンプティサッカーの選手や知的障がいの選手とのサッカー交流試合を行う。

実施日:平成28年度7/24.8/28.9/25.10/23.11/27.12/18.1/15.2/29.3/19 場所:大分東フットサルパークRisanaRosso 内容:大分県知的障がいサッカー選抜選手・チームに無料で練習会場の提供・お手伝い 参加人数:15名前後

宮崎県

テゲバジャーロ宮崎

障がい者サッカー
☆障がい者サッカースクール
実施・・・毎月2回
実施項目・・・知的障がい者サッカースクール ロービジョンフットサルスクール
実施場所・・・宮崎市及び近郊都市
参加者・・・知的障がい者(11人)、弱視児童及び下肢障害児童、障がい児童兄弟(9人)
活動内容・・・定期的なサッカー、フットサルのスクール実施
☆様々なカテゴリーとの交流
①2/19女子チームと知的障がい部門合同でフェスティバル参加(2位)
②アンプティサッカーとの練習試合(女子、知的)2ヶ月に1回
③3/29知的障がい者サッカー、ロービジョンフットサル、アンプティサッカー交流会
④重症身障者病院でのスポーツボランティア活動(月1回)
⑤電動車いすサッカー普及活動(3/22電動車椅子利用者への体験会)
引退無し
☆女子社会人チーム創設
年齢問わず募集し、18歳から43歳までが一緒に活動をし、県内の公式試合及び件リーグに参加。登録者24名中、既婚者8名、出産後子育て中のお母さん7名が在籍し、可能な限りの活動を実施。

最後に

日頃から、JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度にご協力いただいている皆様に、心より感謝申し上げます。

2016年4月から2017年3月までの1年間、本制度を施行した結果、114団体がパートナーとして認定されました。全国各地で、心

からサッカーを楽しめる場が作られていることを嬉しく思います。この輪がもっと広がって、日本のどこにいても、だれもがサッカー

を楽しめる環境となるよう、今後も努めていきます。

そのためには、より多くの方々のご理解とご協力が必要になります。引き続き、多くの方々に賛同パートナーとなっただき、各地で行われている素晴らしい取り組みを紹介していきたいと思

ます。どうぞよろしく願いいたします。